

ちくさん クラブ 21

ニッポンの美味しいを共に創る

2022
vol.141

一生懸命 (福岡県/JAうすきたまごファーム 南郷農場)

最新ICTを積極的に活用
鶏にも人にも快適な養鶏を実践……………02

NEWS 第24回全農肉牛枝肉共励会
4年連続で宮城が名誉賞獲得……………06

CASE STUDY (養牛)
第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会の見どころ……………08

教えて!中研 (肉牛、乳牛、養豚、養鶏)
秋口にかけての飼養管理について……………10

連載 Dr.ジニアのMyカルテ 牛サルモネラ症の対策について……………14

共創するチカラ (長崎県/ながさき健王豚)
地域に愛される「ながさき健王豚(けんおうとん)」
豚肉の“地産地消”が定着……………16

未来を創る新たな担い手たち
(秋田県/たかほし畜産) 地域農業守るため銀行員から転身……………20

NEWS 農業経営に役立つリースセミナー(無料)……………22

連載 ZEN-NOH海外レポートVol.12……………24

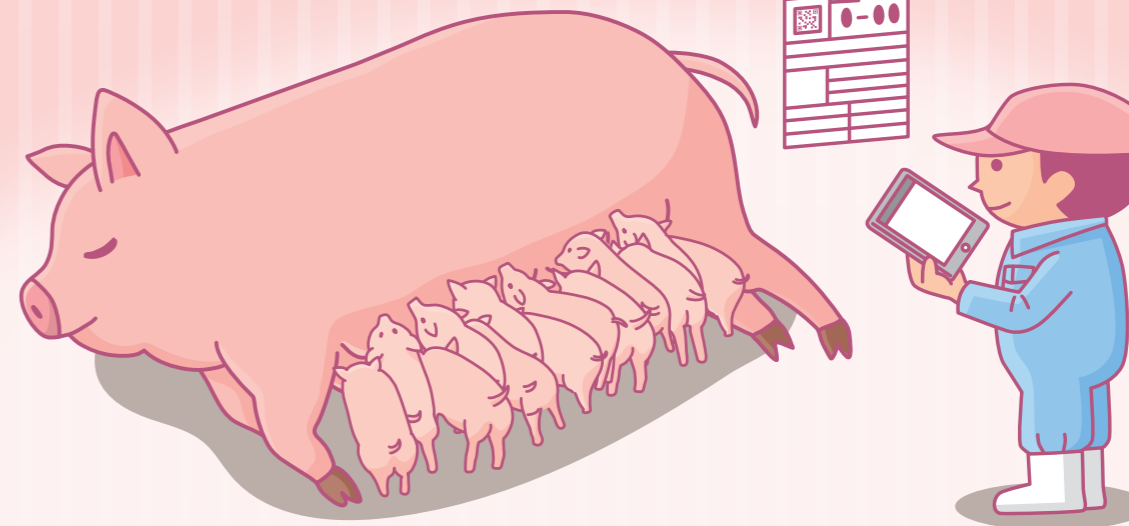
情報 JACCネット和牛枝肉共励会/子牛市場……………26
マーケット情勢……………28



Microsoft
Edge
対応
2022年2月より

くみあい養豚生産管理システム

WebPICs



- 不稼働母豚の早期発見
- 各種成績表の出力とデータ分析



- QRコードで母豚照会
- 生産データを現場で入力

お問い合わせはこちら



<https://pics-sp.zennoh.or.jp/contact.php>

推奨環境

- | | | |
|----------------|--------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|
| PC | OS:Windows7 SP1
Windows8.1
Windows10 | ブラウザ:Microsoft Edge
Internet Explorer 11
(2022.6 IEサポート終了) |
| iPhone | OS:iOS7.0以上 | ブラウザ:Safari |
| Android | OS:Android4.4以上 | ブラウザ:Google Chrome |

※成績表の出力にはパソコンが必要となります。



畜産生産部 推進・商品開発課 畜産ソフト窓口
TEL:03-6271-8248

JAうすきたまごファーム
南郷農場

最新ICTを積極的に活用
鶏にも人にも快適な養鶏を実践

福岡県宗像市の採卵鶏農場・JAうすきたまごファーム南郷農場は、ICT(情報通信技術)を導入したウインドウレス鶏舎で最大24万羽を飼養し、年間6300万個の鶏卵を出荷する。最先端のシステム活用による「鶏にも人にも快適な養鶏」の実践を通じ、安全安心で高品質な鶏卵の安定出荷を実現している。

風通しの良い鶏舎
鶏に、人に快適な環境

異例の猛暑が日本列島を襲った6月下旬。むせ返るほど蒸し暑い屋外から鶏舎に入ると、そこはひんやりと涼しく、心地よい風が流れていた。光量を落とした鶏舎内で鶏たちは穏やかに餌をついばみ、通常の声量で会話ができるほど。糞尿のおいも気にならない。農場長補佐の永岩成介さんは「最新の鶏舎システムを活用して、鶏にとって快適な環境を維持している」と説明する。

鶏舎は計4棟。全て長辺約75mの

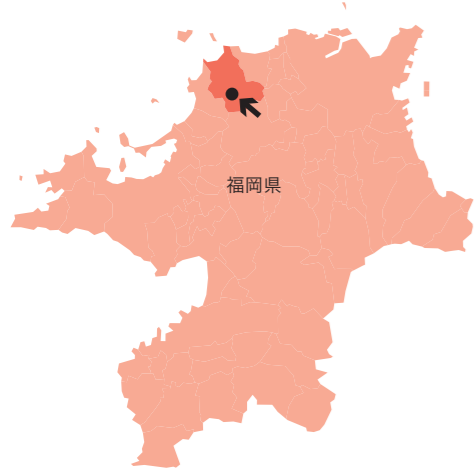
3階建て構造で、各棟を2区画に仕切って8つの鶏群ごとに生育ステージや品種を区別して飼養管理する。風上に巨大な換気口を設け、風下に設置した複数の大型換気扇で排気し風の流れを作る。夏場は吸気側の換気口に水を垂らし、換気時の気化熱により低温の風を生み出して温度を下げている。

きめ細かな飼養管理
ICTを積極活用

鶏舎内の環境制御は、ICTを活用して鶏舎内の制御盤や事務所のパソコンから一元管理する。室温は稼働させる換気扇の数を調整することで0.5℃刻みで管理。永岩さんは「鶏は繊細。温度がわずかに変化しただけでも、すぐに産卵数が増減する。鶏舎内を歩き回らずICTにより手元で管理できるので、労力の軽減と万全な管理を両立できる」と利点を挙げる。生産担当者の1人あたり管理羽数は約6万羽近くに及び、「データ管理が容易になったおかげで、鶏の異変や飼育上の異変にいち早く気づくことができる」と効果を実感している。



JAうすきたまごファーム(株)南郷農場とジェイエイ北九州くみあい飼料(株)の皆さん



福岡県

JAうすきたまごファーム株式会社南郷農場
住所:福岡県宗像市大穂730
従業員:15人
飼養羽数:約20万~24万羽
年間鶏卵出荷量:約6300万個

「鶏は繊細。最新システムで鶏にとって快適な環境を維持」



卵の状態を確認する坂本農場長(中)ら

生育揃い産卵率も向上 ウルトラフレックス機

養鶏にとって何よりも重要とされるのが給餌量と飲水量。これもICTにより、日々の給与量から温度湿度、集卵数といった数値がリアルタイムで記録され一目瞭然だ。これらの数値をグラフ化するなどして比較しながら、鶏の生育や餌食いの状況を把握。例えば暑さで餌食いが悪い時は涼しい時間に餌を多く出すなど、給餌の量やタイミングを調整して安定した産卵につなげている。

1羽1羽の鶏に過不足なく平等に餌を与えるために導入したのが「ウルトラフレックス機」。大型鶏舎では、給餌ラインの始点から終点までの行程で鶏に行きわたる餌の量に格差が生じる課題があるが、餌を高速で流



鶏の健康状態を確認する永岩農場長補佐



餌を高速で鶏舎内に行きわたらせるウルトラフレックス機

すことで、ラインの終点付近の鶏にも始点付近の鶏と同等の量の餌が行きわたるようになる仕組みだ。同社生産部部长で農場長の坂本尚樹さんは「ウルトラフレックス機とICTの導入効果を合わせ、1羽ごとの生育や卵重、産卵数が増え、400日齢を越えても安定して産卵率90%以上を維持している」と手応えをつかんでいる。

万全な防疫・衛生対策 病原体を持ち込まない

鳥インフルエンザの発生が全国で散見される中、業界の最重要課題となっているのが防疫対策だ。永岩さんは「最大の防疫対策は、病気の元となるウイルスなどを農場に持ち込まないことに尽きる」と、強固な「水際対策」に胸を張る。

鶏舎には防鳥ネットを完全に配備し、野鳥や野生生物の侵入を最大限排除。農場に入る車両の消毒、農場内での専用着の着用、入場管理簿の記入といった基本事項は全て徹底している。また、広大な農場をフェンスで囲むことで農場(衛生管理区域)と外部を明確に区別するほか、



衛生管理区域を明示するフェンス

農場外から管理事務所への出入口と、管理事務所から鶏舎への出入口を分離することで、人がウイルスを持ち込まない動線を作っている。

衛生対策は、鶏舎に入る前に長靴を消毒し、ミスト(霧)で衣服を除菌。鶏舎内の管理室で作業用の長靴に再び履き替え、もう一つのドアを開けるとようやく鶏の暮らす鶏舎に入ることができる。作業着は1日2回以上、着替える徹底ぶりだ。更に、死亡鶏が出た場合は、全ての棟の各フロアに設けた死亡鶏用シュートから最低限の移動距離で搬出できる構造となっている。

こうした対策は、従業員全員が徹底しなければ「絵に描いた餅」ではない。南郷農場では独自の衛生マニュアルを作成し、定期的なミーティ

集卵場をオート化 労力軽減・作業性向上を実現

農場の鶏が日々産み落とす卵は、1日あたり約20万個。この膨大な卵が各棟で集卵され、自動コンベアに乗り、続々と集卵場に到着する。集まった卵を選別する現場はあたたかも鶏卵工場のように、清潔で整理整頓されている。

集まった卵から格外品を見つける作業を担うのは「目利き」のパート従業員。目視で素早く確認するのは、汚れや割れの有無、大きさなど。無事合格した卵は一枚のトレーに30個ずつ乗せられ、5枚重ねで出荷用パレットに流れていく。

ここで待ち構えるのが「荷積みロボット」だ。5枚重ねの出荷トレーが4つ(20枚分)集まると、巨大なアームが一挙につかんでパレットに積み上げる。トレー5枚で重さは約10kgあるが、これまで人力で積んでいた。長く南郷農場に勤め、現在は集卵の責任者を務める白土直一さんは「昔の手積みは重労働で本当に大変

だった。作業の機械化、効率化と比較にならないほど楽になった」と顔がほころぶ。

ロボットの動作はミリ単位で調整でき、「人が運ぶよりも正確」という。白土さんは「オートメーション化による生産性向上だけでなく、人為的な卵の損傷も回避できる。もはやロボットなしは考えられない」と評価する。

格外卵の低減に力 地道な努力にやりがい

物価の優等生と呼ばれる、数十年前にわたり小売価格が変わらず業界を圧迫し続ける情勢の中、南郷農場は産卵率の向上と格外卵を減らすことで経営維持に努めてきた。農場の立ち上げ当初、集卵段階の格外率は多い時で7%超えていたが、現在は3%程度まで低減した。永岩さんは「集卵時の破卵を減らすと、従業員がひたすらコンベアを手で拭くなどして汗を流した結果、数字に現れた時は達成感があった」と振り返る。

関連業者の協力体制も心強い。ジェイエイ北九州くみあい飼料(株)

は、与える餌の成分によって卵の殻を固くして破卵を減らすことを提案。ビタミンD₃など強化した卵殻強化資材「エスク2」を飼料に配合し、格外卵の減少をサポートする。また、業界では数少ない「衝撃センサー」を導入し、集卵から出荷までの過程で衝撃が強く破卵が発生しやすい場所を徹底調査。集卵ラインの改善を後押ししている。同社養鶏課の矢野達紀係長は「顧客の収益向上を図るため、飼料以外でも経営をサポートしている」と意欲的だ。

坂本さんたちが今も忘れられないのは、農場の水が枯渇した「大事故」だ。当初は原因も分からず、給水車を呼び必死で水を確保し、ポンプの修復や井戸の増設など、従業員が総出で一心不乱に対応した。「ライフラインの重要性と生き物を守るという使命を痛感した」と、改めて身を引き締める永岩さん。坂本さんも「消費者に安心してもらえる卵を供給して関心を持ってもらいたい、若い人に担い手になってもらえる持続可能な業界づくりの一助になりたい」と前を向く。



PCで20分おきに農場のデータを確認する白土さん



格外品を見つける作業を担うのは「目利き」のパート従業員



従業員の作業負担を軽減した「荷積みロボット」

4年連続で宮城が名誉賞獲得

第24回全農肉牛枝肉共励会

J A全農は7月1日、「第24回全農肉牛枝肉共励会」を東京都中央卸売市場食肉市場で開催した。和牛の高品質化が進み、ハイレベルな争いとなる中、豊かな肉量感と卓越したパランスで他の枝肉を圧倒した宮城県の佐藤昭彦さん（JAみやぎ登米）が最高位にあたる名誉賞に輝いた。最優秀賞は3部門とも栃木県の生産者が獲得した。



本共励会には、全国17都県から和牛去勢209頭、和牛雌80頭、交雑種32頭の計321頭が出品された。歩留等級では、和牛去勢のA等級の割合が99・5%と昨年を上回り、特に歩留基準値75以上が84・2%、80以上が17・7%（37頭）

と好成绩を取めた。和牛雌のA等級の割合は97・5%、交雑種のB等級以上の割合は93・8%だった。品質概略は次の通り。
●枝肉重量(kg)
和牛去勢576.8 / 和牛雌488.6 / 交雑種616.7

- ロース面積(cm)
和牛去勢85.5 / 和牛雌74.0 / 交雑種67.2
- バラの厚さ(cm)
和牛去勢9.3 / 和牛雌8.4 / 交雑種8.4
- 皮下脂肪の厚さ(cm)
和牛去勢2.4 / 和牛雌3.0 / 交雑種3.1

ハイレベルな戦いを評価 夏場の暑さ対策徹底を

芳野陽一郎審査委員長（公益社団法人日本食肉格付協会専務理事）は「和牛去勢は入賞品をはじめ、枝肉重量が大きく、充実したロース芯面積で、皮下脂肪の厚さが2.4cmと歩留まりが高くなってきました。切開面における各筋肉と筋間脂肪のバランスも全体的に優れていました。和牛雌も全国平均と比べて枝肉重量が大きく、最大64.4kgと去勢と変わらない大きさの牛も出ました」と総評した。一方で、「和牛雌は皮下脂肪の厚さが4.0cmを超える枝肉が7.5%、3.0cm以

上47.5%と前年より増加し、筋間脂肪も厚い枝肉が目立ちました。外観・肉質的に普通の枝肉と、良い枝肉のバラッキがあると感じています。交雑種も皮下脂肪が若干厚い傾向にありましたが、全体的には脂肪交雑が適度で光沢も良く、脂肪の質に優れた枝肉が多く見られました」と講評した。また、肉色の濃い枝肉が見られたことに触れ、夏場の温度管理を徹底することで肉色を良くし、「取引価格向上につなげましょう」と話した。

ロース芯面積150cm² 他を圧倒した名誉賞の枝肉

全体の最高位となる名誉賞を受賞したのは和牛去勢の部に出品した、宮城県の佐藤昭彦さん（JAみやぎ登米）。枝肉重量が69.4kg、ロース芯面積が150.0cm²と近年稀に見る特大サイズで、このほか、「肉量感豊かで全てにおいて他を圧倒する」と審査段階から注目を集めた。審査員が全員一致で名誉賞に決定した。「前駆、中駆、後駆は厚みに富み、体型バランスも特に優れていた。また、脂肪交雑も全ての筋肉に偏りなく入っていた」との高評価を得た。

名誉賞を受賞し、夢を見ているようなうれしい気持ちです。受賞牛は導入時から380kgとかなり大きな子牛でした。飼養管理は他の牛と同じようにしていたので、素質が良かったのだと思います。種牛は「茂福久」、母の父が「秀菊安」、母の祖父が「忠富士」です。安福久系統の特徴が顕著だったので、「茂福久」の良いところが出たのだと思います。出荷前の生体時も今までにないような外観に育ちました。脂質の改善のため、出荷の7カ月前くらいからもち米を与えていたので、それが脂質の良さに繋がったと考えています。良い牛とは本当に巡りあわせだと思います。これからも導入時にしっかりと見極めるとともに、家族と力を合わせて良い牛を育てていきたいと思っています。



さとう あきひろ
佐藤昭彦さん
宮城県 JAみやぎ登米



最優秀賞
（交雑種の部）
小池畜産
小池秀一さん
栃木県
JAしおのや



肥育中期に餌を良く食べたことで枝肉重量672kgにまで肥育することができました。自分たちの牛肉づくりを信じ、ぶれずに行ってきたことが今回の受賞につながったと思います。息子にも、ぶれずに時代に沿った消費者の求める牛肉を作ってほしいと願っています。

<審査講評>
和牛体型の大型牛で、脂肪付着も良好で、筋間脂肪にかみ脂がなく、無駄のない体型だった。脂肪交雑も小サシ中心で満遍なく、脂肪質も粘りに富み良好、肉の光沢にも優れていた。

最優秀賞
（和牛雌の部）
近藤美好さん
栃木県
JAおやま



去勢のイメージが強い「とちぎ和牛」にも、いい雌牛がいることを示すことができました。飼料にこだわって徐々に給与量を増やし、じっくり育てて肥育し、サンと肉のキメを細かく作りあげていくことを心がけています。来年度の全農共励会でも良い成績が残るように、引き続き努力していきたいと思っています。

<審査講評>
大きく、良型なロース芯を中心に、肉量豊かな枝肉。脂肪交雑は小サシ中心で満遍なく入り、肉色はBCSNo.3で光沢が特に優れていた。外観・肉質ともにバランスがよかった。

最優秀賞
（和牛去勢の部）
磯野均さん
栃木県
JAなす南



受賞牛は各部位が盛り上がるほど外観が素晴らしいと、自信がありました。今回の受賞は生産者が一致団結して作り上げてきたブランド「とちぎ和牛」の弾みにもなります。若い担い手たちの目標となれるように次こそは、牛飼いの人生の集大成として、息子と二人三脚で名誉賞を目指します。

<審査講評>
ロース芯面積、バラともに厚みがありながら、皮下脂肪が1.9cmと非常に薄かった。歩留基準値が84.3と高く、「とちぎ和牛」らしい存在感のある枝肉。特に僧帽筋と広背筋の張りが見事だった。

第24回「全農肉牛枝肉共励会」入賞者一覧

褒賞	産地	出品者名	肥育期間	品種	性別	血統			生体重(kg)	枝肉重量(kg)	格付	枝肉単価(円)	ロース芯面積(cm ²)	バラの厚さ(cm)	歩留基準値	BMS
						父	母の父	母の祖父								
名誉賞	宮城	佐藤 昭彦	31	和	去勢	茂福久	秀菊安	忠富士	974	694.0	A5	7,511	150	11.5	86.8	12
	栃木	(株)小池畜産	28	F1	去勢	美津百合	-	-	1050	672.0	A5	2,505	74	9.0	72.4	9
最優秀賞	栃木	近藤 美好	32	和	雌	隆安国	安福久	百合茂	616	428.0	A5	6,085	88	10.0	80.7	12
	栃木	磯野 均	30	和	去勢	耕富士	安福久	平茂晴	932	641.0	A5	5,001	135	10.6	84.3	12
優秀賞	福島	池田農場	28	F1	雌	勝早桜5	-	-	875	579.0	A5	1,825	81	8.9	72.4	8
	岩手	高橋 正則	33	和	雌	幸紀雄	美国桜	安福久	702	486.0	A5	3,093	90	10.3	79.3	12
	栃木	佐藤 和徳	31	和	去勢	福之姫	百合茂	安福久	917	655.0	A5	2,824	109	9.7	80.1	12
	石川	(株)能登牧場	30	和	去勢	福之姫	安福久	百合茂	865	601.0	A5	3,385	114	10.7	82.7	12
	岩手	千葉 大	29	和	去勢	茂晴花	安福久	金幸	748	528.0	A5	3,078	120	8.8	82.7	12
優良賞	栃木	松山牧場	29	F1	去勢	奈津百合1	-	-	947	629.0	B5	2,001	68	9.1	70.7	8
	宮城	加藤 昌隆	32	和	雌	茂晴花	幸紀雄	忠富士	667	460.0	A5	3,201	81	8.6	77.1	12
	宮崎	小倉 光彦	33	和	雌	清正秀	徳悠翔	平茂勝	727	476.0	A5	3,203	84	7.8	78.3	12
	三重	なかお畜産(株)	32	和	雌	諒太郎	安福久	百合茂	740	494.0	A5	4,102	84	7.6	77.7	12
	岩手	渡辺 悟	31	和	雌	菊福秀	美国桜	安福久	656	462.0	A5	3,574	76	9.1	78.2	12
	青森	小原 暢人	29	和	去勢	百合白清2	安福久	平茂勝	821	580.0	A5	3,000	116	10.2	82.7	12
	神奈川	(株)小野ファーム	26	和	去勢	福之姫	安福久	勝忠平	977	689.0	A5	2,894	101	10.5	79.4	12
	宮城	菅野 豊博	31	和	去勢	愛之国	安福久	百合茂	857	620.0	A5	3,033	108	10.3	80.1	12
	福島	湯浅 卓也	28	和	去勢	美国桜	安福久	百合茂	909	612.0	A5	3,048	92	9.7	79.0	12
	栃木	磯野 厚	30	和	去勢	福之姫	安福久	勝忠平	972	677.0	A5	2,742	133	10.3	83.3	12
優良賞	佐賀	からつ前田畜産(株)	30	和	去勢	福之姫	諒太郎	安福久	880	616.0	A5	2,893	126	9.6	82.5	12
	新潟	関 克史	27	和	去勢	福之姫	安福久	百合茂	870	616.0	A5	2,735	102	10.4	79.4	12

第12回全国和牛能力共進会 鹿児島大会の見どころ



令和4年10月6～10日、鹿児島県霧島市牧園町（種牛の部）と南九州市知覧町（肉牛の部）の2会場で「第12回全国和牛能力共進会」が開催されます。今大会では、特別区として高校及び農業大学から出品される25頭を含め、41道府県から種牛290頭、肉牛169頭、計459頭が出品される予定です。

「和牛新時代 地域かがやく和牛力」をテーマとした、今大会の見どころをお伝えします。

鹿児島全共には「〇〇」が集結!?

(1) 目指せ！分娩間隔400日以内

鹿児島全共には「繁殖能力に優れた牛」が集結!?

種牛の部では、特別区（表1）を除き、母牛や本牛に繁殖能力の条件を設けています。①初産月齢が28カ月以内、②分娩間隔が400日以内、または、③分娩間隔の育種価が各道府県の平均値以上のレベルであること、などが求められています。これは「和牛力」として、和牛に本質的に備わっていると考えられる「年1産1分娩間隔365日」を目標とし、鹿児島大会までに「400日以内を目指そう」という想いを込めて設定しました。

表1

区	タイトル	月齢	概略
種牛の部	1 若雄	15～23カ月未満	和牛集団の遺伝的多様性の維持・拡大と、地域における特色ある系統の再構築と達成を目指す。将来にわたって系統の特色ある遺伝子を保留・固定していくための種雄牛候補の育成を目的とした区。
	2 若雌の1	14～17カ月未満	改良組合活動の活性化による増頭意欲の向上とともに、全共参加者の拡大を促すことを狙った区。積極的に改良組合内に選抜・保留し、地域全体の生産基盤の安定と拡充につなげる。
	3 若雌の2	17～20カ月未満	2区と同じ。
	4 繁殖雌牛群	(3産以上)	地域の特色ある雌牛集団づくりの実現と、育種組合及び改良組合活動による改良成果の確認と技術向上を目的とした区。3代以上（本牛-母-母方祖母）にわたり自道府県内で生産されてきた成雌牛3頭を1群にて出品。
	5 高等登録群	14カ月以上	母-娘-孫娘にわたる改良の成果の確認と、優良雌牛系統の地域への保留推進と拡大を狙った区。高等登録の母牛と娘牛及び孫娘牛の直系3代にわたる3頭を1群として出品。
肉牛の部	6 総合評価群	種牛:17～24カ月未満 肉牛:24カ月未満	種牛能力と産肉能力を総合評価する出品区で、地域の改良の中核を担う種雄牛の産子を実証展示し、各地域の改良成果を確認することを狙った区。同一種雄牛の産子を種牛群(4頭)と肉牛群(3頭)合わせて1群として出品。
	7 脂肪の質評価群	24カ月未満	脂肪の質の育種評価体制の構築により、脂肪の質の改良につなげることを目的とした区。一価不飽和脂肪酸(MUFA)またはオレイン酸の育種価が算出された同一種雄牛の去勢肥育牛産子3頭を1群として出品。
	8 去勢肥育牛	24カ月未満	効率的でかつ美味しい和牛肉生産を目指し、改良された和牛の能力と肥育技術により、和牛の魅力を最大限に引き出すことを目的とした区。1つの道府県から2頭まで、年齢の制限が設けられた種雄牛の去勢肥育牛産子を単品として出品。
特別	高校及び農業大学	14～20カ月未満	農業教育とその学習活動を通じた和牛の理解醸成と担い手の育成を目的とした区。和牛を飼育する高校及び農業大学から生産・飼育された若雌1頭が出品され、出品牛と取り組み発表に対する総合的な審査を行います。

見どころ 共進会では外貌（外見）審査をしますが、皆さんは分娩間隔の短い牛に共通する外貌上の特徴をご存

知でしょうか。
実は、和牛の審査項目の一つである「品位」と「分娩間隔」は好ましい関係にあります。品位の良い牛とは、体の線が綺麗（輪郭鮮明）で、骨がよくしまり、肩の付着が良い牛ということです。こうした特徴に注目すると、審査理由への理解が深まるかもしれません。

(2) ブランドの価値を高めよう!

鹿児島全共には「地域の宝牛」が集結!?

出品牛は「種牛の部」「肉牛の部」ともに各出品道府県産であり、雌・雄牛にかかわらず、全て改良組合内で生産されていることが条件となっています。これは、遺伝的改良が選抜と交配の繰り返しである、という育種改良の基本原理に加え、遺伝的多様性の維持を狙ったものです。2019年に生まれた和牛の繁殖雌牛の近交係数の平均は9.5%となっており（図1）、早晩に10%に到達する見込みです。

鹿児島全共には「繁殖能力に優れた牛」が集結!?

産地として、名実ともに磨かれてきた全国の「地域の宝牛」を見ることが出来ます。

見どころ 第4区「繁殖雌牛群（表1）」は、母系が3代以上にわたり県内産であることを条件としています。出品牛は、各道府県で代々改良を継続してきた繁殖雌牛です。地域のブランド牛として、名実ともに磨かれてきた全国の「地域の宝牛」を見ることが出来ます。

見どころ 今大会より、6～8区（表1）の、評価を「肉質・歩留・脂肪の質11111」としました。また、BMS No.10以上の肉質評価を一律としたのがポイントです。特に注目したいのが、第7区の「脂肪の質評価群」。脂肪の質の比重を高めることを目的に、BMS No.8以上の肉質評価を一律にしました。また、交雑脂肪の形状も評価に加えているのが特徴です。これは、サシが細かく入るものほど筋繊維が細かく、肉質がやわらかくなるからです。また、同じBMS Noでもサシが細かく入る方がタンパク質の割合が高く、アミノ酸の量を増やすことにつながるの理由です。こうした考え方により、食味性が高いと期待される枝肉を高く評価し、これらの価値を高め、新たな牛肉の価値観を構築しようという狙いがあります。

(3) 新たな牛肉の価値観を構築しよう!

鹿児島全共には「美しい牛」が集結!?

令和3年度の和牛去勢のA15等級の割合は56.1%に達し、BMS No.の平均値は8.1となりました（日本食肉格付協会より）。

鹿児島全共には「美しい牛」が集結!?

現在では、脂肪交雑の多い牛肉のみならず、消費者の多様なニーズに配慮していくことが求められています。しかし、脂肪交雑だけでは「美しい牛肉」にはなりません。なぜなら、牛肉の美味しさの一要素であるアミノ酸は赤身の部分に含まれ、脂肪交雑が増えると、このアミノ酸の量が減ってしまうからです。また、「美味しい牛肉」は脂肪の量だけで

見どころ 共進会では外貌（外見）審査をしますが、皆さんは分娩間隔の短い牛に共通する外貌上の特徴をご存

知でしょうか。
実は、和牛の審査項目の一つである「品位」と「分娩間隔」は好ましい関係にあります。品位の良い牛とは、体の線が綺麗（輪郭鮮明）で、骨がよくしまり、肩の付着が良い牛ということです。こうした特徴に注目すると、審査理由への理解が深まるかもしれません。

(4) 和牛の担い手を育もう!

鹿児島全共には「美しい牛」が集結!?

前回の宮城大会で付帯行事として設定された「復興特別出品区」を正式な出品区とし、今大会から特別区

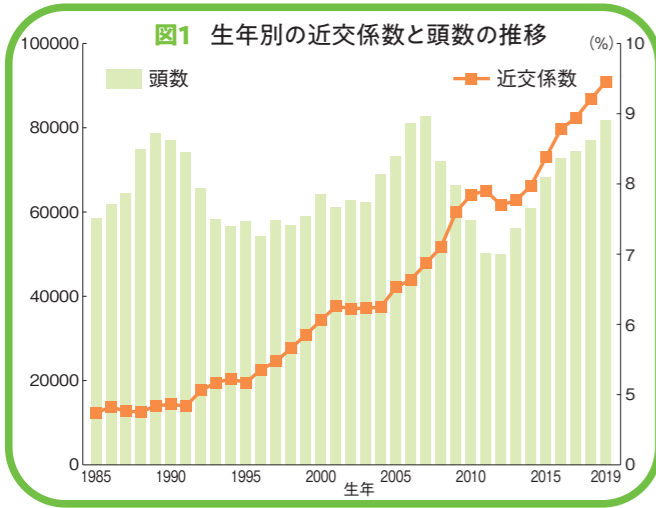
鹿児島全共には「美しい牛」が集結!?

「若い力」が鹿児島県に集結!?

多くの方々に鹿児島全共をご覧いただければと思います。

見どころ 今大会より、6～8区（表1）の、評価を「肉質・歩留・脂肪の質11111」としました。また、BMS No.10以上の肉質評価を一律としたのがポイントです。特に注目したいのが、第7区の「脂肪の質評価群」。脂肪の質の比重を高めることを目的に、BMS No.8以上の肉質評価を一律にしました。また、交雑脂肪の形状も評価に加えているのが特徴です。これは、サシが細かく入るものほど筋繊維が細かく、肉質がやわらかくなるからです。また、同じBMS Noでもサシが細かく入る方がタンパク質の割合が高く、アミノ酸の量を増やすことにつながるの理由です。こうした考え方により、食味性が高いと期待される枝肉を高く評価し、これらの価値を高め、新たな牛肉の価値観を構築しようという狙いがあります。

見どころ 今大会より、6～8区（表1）の、評価を「肉質・歩留・脂肪の質11111」としました。また、BMS No.10以上の肉質評価を一律としたのがポイントです。特に注目したいのが、第7区の「脂肪の質評価群」。脂肪の質の比重を高めることを目的に、BMS No.8以上の肉質評価を一律にしました。また、交雑脂肪の形状も評価に加えているのが特徴です。これは、サシが細かく入るものほど筋繊維が細かく、肉質がやわらかくなるからです。また、同じBMS Noでもサシが細かく入る方がタンパク質の割合が高く、アミノ酸の量を増やすことにつながるの理由です。こうした考え方により、食味性が高いと期待される枝肉を高く評価し、これらの価値を高め、新たな牛肉の価値観を構築しようという狙いがあります。





乳牛

厄介な大腸菌性乳房炎の対策

多 くの酪農家の皆さんにとって、乳房炎は悩みの種です。特に症状が重い大腸菌性乳房炎の発症は、少しでも減らしたいものです。今回は中研で実施している対策を紹介します。

7～10月に多発

過去5年間の中研（常時搾乳頭数150頭）における乳房炎発症頭数を月別に集計しました（図1）。7～10月にかけて大腸菌性乳房炎が増えているのが分かります。このように、国内の多くの農場と同様、中研でも毎年夏から秋にかけて大腸菌性乳房炎が多発します。乳房炎、特に大腸菌性乳房炎を意識した中研での対策を以下に紹介します。

4つの対策を紹介

①敷料：敷料として使用するおがくずの細菌検査を定期的の実施し（表）、乳房炎原因菌のないおがく

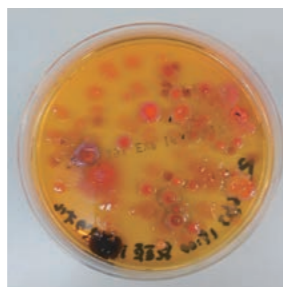
表 おがくずの細菌検査
（数値は1グラムに含まれる細菌数）

業者	レンサ球菌	大腸菌	クレブシエラ
A社	0	0	0
B社	14,000,000	2,000,000	1,900,000

ずを乳牛舎に使っています。また、牛床が糞尿で汚れた状態では乳房炎になりやすいため、床面の管理にも注意し、夏はおがくずの投入量を増やしています。一方で、細菌で汚染されたおがくずしか手に入らない場合は、消石灰による消毒が推奨されています。

②乳頭清拭タオル：洗濯後の乳頭清拭タオルを検査したところ、たくさんの細菌が検出されたことがありました（写真）。酪農専用洗剤で洗濯していましたが、注意事項に従っていなかったためです。洗剤の量、水温、すすぎ回数を注意事項の通りに

写真 乳頭清拭タオルの細菌検査



することで改善しました。

③バケットミルクカー：ライナー、クロー、フタの裏側から細菌が分離されました。特にクロー内側のこびりついた汚れからは大腸菌や緑膿菌が大量に分離され、このバケットミルクカーでの搾乳による大腸菌性乳房炎の発症が疑われる事例がありました。各部品を分解洗浄し、使用後の洗浄殺菌を徹底した結果、細菌は分離されなくなりました。

④治療薬剤：使っている薬が大腸菌群に有効かどうか、常に検査で確認しています。個体ごとでは検査結果が出る時には治療が終わっているか廃用になっています。しかし結果を蓄積し、次の発症牛から効かない薬、の使用をやめていくことで、徐々に効かなかった薬、が効くようになってきます（図2）。有効な薬が増えると治療しやすくなり、薬のトータル使用量も減らすことができます。

他にもさまざまな対策があります。かかりつけの獣医さんなどと相談しながら乳房炎を予防しましょう。

図1 中研における月別乳房炎発症頭数累計（2017-2021年）

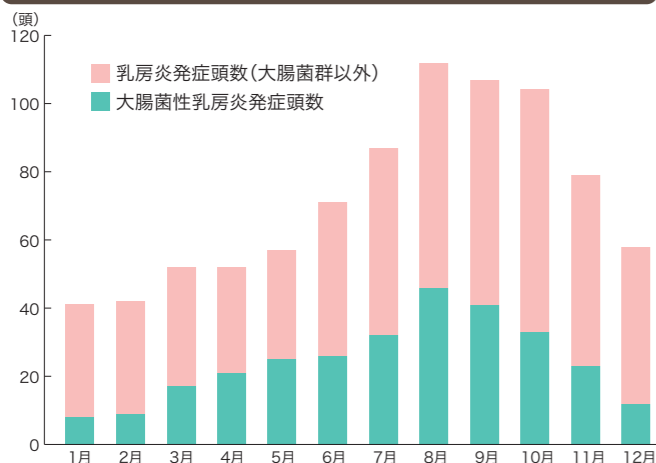
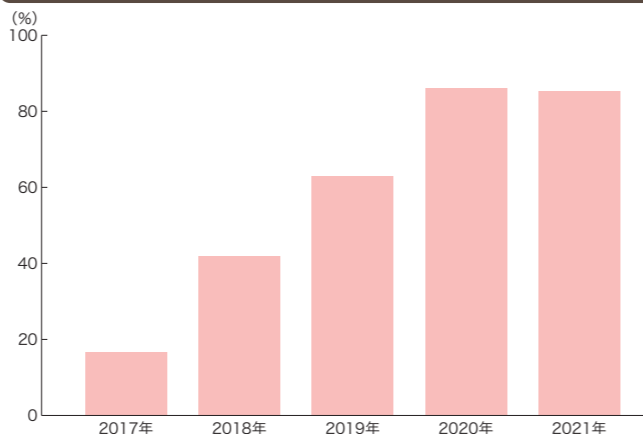


図2 中研で発生した大腸菌性乳房炎に対して抗菌剤Xが有効と判定された割合の年次別推移



肉牛

暑熱期の肥育牛のビタミンAとβカロテン

夏 場の疲労と残暑の追い打ちで、牛も人もより一層体調管理に気をつける必要があります。本項では、黒毛和種肥育牛における暑熱時のビタミンA（以下VA）コントロールについて紹介します。 笠間乳肉牛研究室

夏場のVAコントロール

黒毛和種肥育では肥育中期において、肉質向上のために血中VA濃度を制御するVAコントロールが一般的に行われています。しかし、VAが欠乏した場合、食欲不振や視覚障害、重度の場合には起立不能が引き起こされることから、欠乏を起こさない範囲での適切なコントロールが求められます。では、高温多湿の夏場や残暑が続く時期はその他の季節と同様のVAコントロールで良いのでしょうか。

肉牛は乳牛と比べると暑さに強いイメージがあるかもしれませんが、肥育牛は体の大きさに対して体表の面積が小さく、体内に蓄積された熱を放出する能力が低いと、暑熱ストレスの影響は決して小さくありません。暑熱ストレスを受けた肉牛は採食量が低下したり生理機能に悪影響が出て、増体が悪くなる可能性が高まります。そして、牛のVA消費量も暑熱ストレスに大きく影響されます。

通常期と暑熱期を比較

図1は暑熱期（7～8月、日平均気温：27.8℃、日平均湿度：75.6%、日平均温湿度指数（以下、THI）：78.7）と通常期（5～6月、日平均気温：20.6℃、日平均湿度：74.3%、平均THI：67.4）において、肥育牛（去

勢、平均月齢約19カ月）の血中VA濃度の推移を比較したグラフです。飼料は稲わらを1.5kg/日、VA製剤の含まれていない市販の配合飼料を9～9.5kg/日給与しています。

通常期において、血中VA濃度が7.1IU/dL低下したのに対し、暑熱期には同じ期間で22.1IU/dL低下しました。暑熱期には飼料摂取量の低下も見られますが、VA効力の低い飼料を給与しているので、飼料摂取による影響はほとんどありません（いずれの時期も飼料からのVA摂取は約1900IU/日）。このことから、暑熱期には暑熱ストレスによってVAの消耗が著しくなっていると考えられました。

続いて、図2は図1と同じ牛の血中βカロテン濃度の推移です。

βカロテンは体内でVAに変換される物質であり、主に粗飼料に含まれます。暑熱期の血中βカロテン濃度は通常期よりも低い濃度で推移しました。肥育牛における血中βカ

ロテン濃度の正常値は明らかにされていませんが、暑熱期の牛は通常期の牛よりもVAに変換可能なβカロテンが不足しており、このことも暑熱期に血中VA濃度が低下した原因の1つと考えられました。

早期から補給し、欠乏予防を

これまで示したデータから、夏場のVAコントロールを他の季節と同じように実施するとVA欠乏となる可能性が高いと考えられます。VAの補給方法としては、元になるβカロテンが多く含まれるアルファルファ等の粗飼料の補給、VA製剤の経口補給あるいは注射が挙げられます。

特に夏場でも攻めたVAコントロールを実施している場合には、餌の食べ具合や牛の行動を観察し牛の状態を把握すること、定期的に血液検査を実施し、血中VA濃度を把握することが重要です。そのうえで、血中VA濃度が30IU/dLを下回らないように、早いうちから少しずつ補給することでVA欠乏を防ぎましょう。

図1 暑熱期（7～8月）と通常期（5～6月）の血中VA濃度の比較

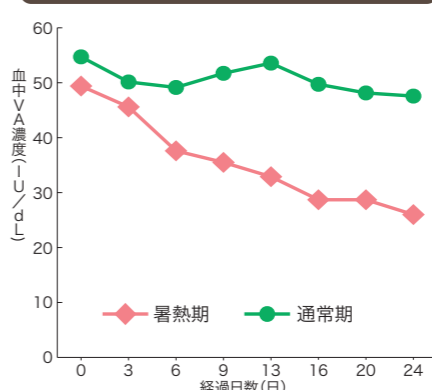
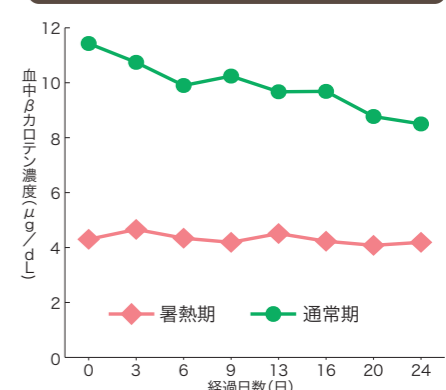


図2 暑熱期（7～8月）と通常期（5～6月）の血中βカロテン濃度の比較





鶏

卵重を適正にコントロールしよう

直 近5年間の平均気温をしてみると、9月はまだまだ残暑が厳しいのですが、10月になると一気に気温が低下します(図1)。気温が下がると、鶏もたくさん餌を食べ、卵重も大きくなりやすいです。適正水準を超えて卵重が大きくなると、卵の価値も下がるうえ、農場での破卵・ヒビ卵も増えやすくなるなど経営にとってデメリットが膨らみます。今回は、卵重の適正なコントロールについて紹介します。

養鶏研究室

過大卵の目安

鶏は日齢が進むと体重も大きくなり、それにもなって自然と卵重が大きくなります。それでは、何gを超えると、「過大卵」となってしまうのでしょうか？ 明確な定義はありませんが、野外農場のデータを解析したとこ

図1 主要都市における直近5年間の9月と10月の最高気温(気象庁HPより)

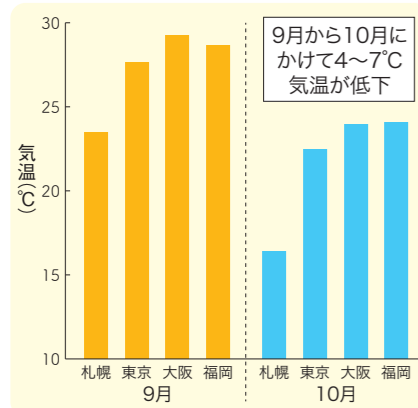
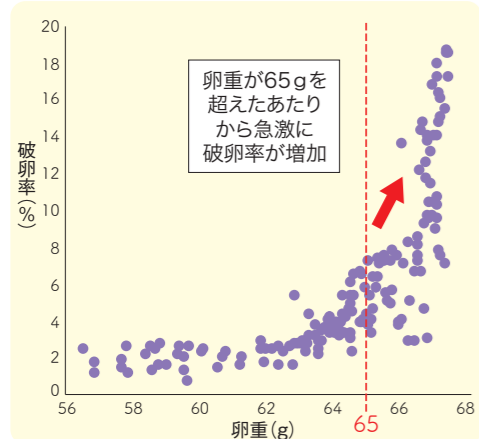


図2 卵重と農場での破卵率の関係(全農中研調べ)



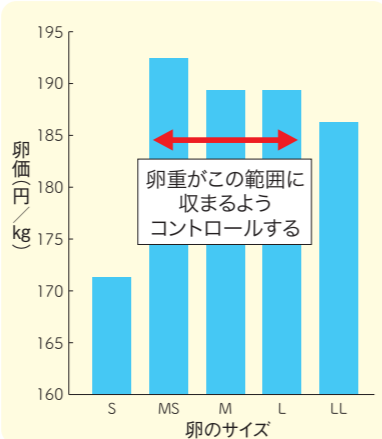
ろ、卵重が65gを超えたあたりから破卵率が急激に増加する事例を確認しています(図2)。このことから、少なくとも65gに到達する手前で卵重を抑制する工夫が必要です。

テーブルエッグとして販売している養鶏場では、重量あたりの価格(図3)が最も高いMSサイズからLサイズを中心に生産することが理想です。そのためには、中間となるMサイズ(58g以上から64g未満)を目安として、鶏群の平均卵重が60~62gに差しかかる頃に、飼料の栄養濃度の引き下げや飼料摂取量を抑える等により卵重を抑制します。

飼育温度は高めを維持

鶏の飼育温度が低くなりすぎた場合、飼料摂取量が増加して飼料

図3 過去5年間のサイズ別平均卵価(JA全農たまご公表値 東京M基準値)



効率が悪化します。結果的に前述の通り、卵重が大きくなりすぎてしまいます。更には、鶏舎内の最低温度が20℃を下回ると、産卵率が明確に低下した事例も報告(本誌135号)されています。

全農の研究所で収集した野外データを解析したところ、比較的高めの温度帯(25~27℃)で鶏を飼育管理することで産卵率を落とすことなく、卵重が大きくなりすぎない、効率的な鶏卵生産につながる事が確認されています。ただし、規模の大きな鶏舎では、鶏舎の最下部と最上部の温度差が大きいので、工夫が必要となります。例えば、最上部の飼育密度を薄くする、^{かくはん}舎内ファンにより上下に空気を攪拌する等が有効です。

飼料のCP(粗タンパク質)を引き下げる

特に産卵後半において、鶏に必要な以上のタンパク質を摂取させると、卵重が増加するスピードが早まります。そこで、産卵後半ではタンパク質やアミノ酸の水準を落とした飼料に切り替える期別給与が一般的に取り入れられています。期別給与により、鶏群の平均卵重が60~62gに差しかかる時期を目安として一段階低い栄養水準の飼料に切り替えます。

飼料価格が高騰する中、卵重をコントロールして少しでも農場の収益性の改善につなげていきましょう。



豚

養豚場における蚊の対策

か ゆみや羽音によって人に不快感を与える蚊は、豚に対してもストレスを与えるだけでなく、吸血の際に病原体を媒介し、母豚では異常産、雄豚では精巣炎を引き起こし、農場の成績に悪影響を及ぼします。今回は、蚊の生態や養豚場における対策について紹介します。

養豚研究室

蚊が媒介する感染症

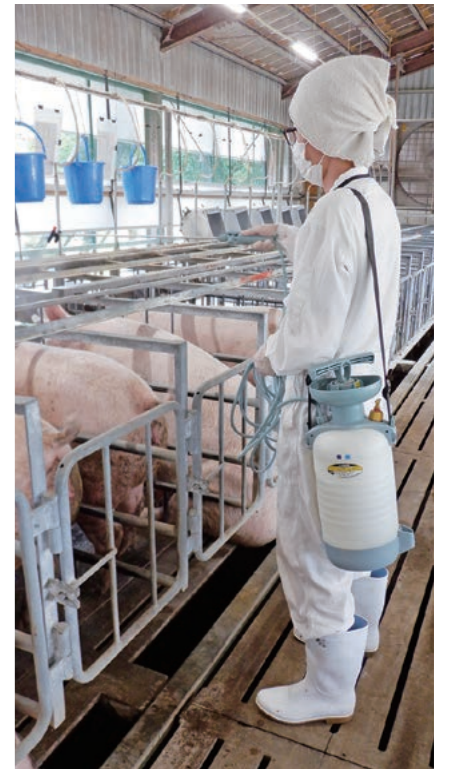
蚊が媒介する豚の病気として、人獣共通感染症としても知られる日本脳炎が挙げられます。免疫のない妊娠母豚が日本脳炎に感染した場合、白子や黒子、神経症状を示す新生子豚を分娩する異常産が発生します。また、種雄豚が感染した場合は、精子を作る能力が低下して受胎率を下げる原因の1つとなります。

日本脳炎を防ぐためには、ワクチネーションや適切な抗体検査が有効です。しかし、蚊が日本脳炎以外にも豚繁殖・呼吸障害症候群(PRRS)など多くの感染症の伝播を起こしうる点や、蚊の発生が家畜にとって大きなストレスとなって生産性を低下させる点を考慮すると、その発生自体を防ぐ取り組みが重要となります。

発生条件と対応策

日本脳炎を媒介するコガタアカイエカは日本全土に生息し、最も発生する時期は7~8月とされています。しかし、コガタアカイエカが活動する温度帯は15~32℃と幅広いため、実際は地域によって4月から10月頃まで発生します。そのため、蚊の対策を実施すべき時期は夏場だけではなく、

写真2 豚体への殺虫剤の散布風景



です。また、蚊は壁や防鳥ネットに止まって休む時間が長いため、止まりそうな場所に殺虫剤を散布することも蚊の対策に有効な場合があります。

豚体へ殺虫剤を直接散布する場合は、獣医師の指示のもと動物用医薬品のピレスロイド系殺虫剤(動物用金鳥ETB乳剤、ペルメトリン乳剤「フジタ」など)を使用することが有効です。動物用医薬品の殺虫剤は希釈を行い、蓄圧式噴霧器等を用いて容易に豚体に散布(写真2)することが可能ですが、薬品ごとの用法用量に従い、出荷までの休業期間に注意してください。蚊の発生源をなくし、積極的に成虫の駆除を行うことで、生産性を高めるとともに、人や豚に居心地の良い農場づくりを心がけましょう。

写真1 パドの下にできた水たまり



牛サルモネラ症の対策について

近年、牛サルモネラ症の発生が増えています(図1)。治療や検査にかかる費用、死亡事故や抗菌剤投与にともなう生乳の出荷制限など、多額の損害を被る場合もある注意すべき感染症です。今回は病気の概要と一般的な対策について紹介します。



1 牛サルモネラ症について

①原因菌

牛サルモネラ症は「サルモネラ」という細菌によって引き起こされる感染症です。サルモネラには血清型が多くありますが、特に伝播力と症状が強いサルモネラ・ティフィムリウム(ST)、サルモネラ・ダブリン(SD)、サルモネラ・エンテリティディス(SE)、サルモネラ・コレラエスイス(SC)の4つの血清型は届出伝染病に指定されています。牛において、特にSTとSDによる発生が多発しています。



写真1. サルモネラが検出された下痢便

ざった下痢便です(写真1)。呼吸器病や関節炎、起立ができない等の神経症状が見られる場合もあります(写真2)。適切な処置をしないと死亡する例も少なくありません。また、成牛でも発生し、発熱や下痢にともなう乳量の急激な減少、早・流産が見られます。

③発生しやすい季節

感染症の発症は、動物の免疫力と病原体の力(量)のバランスで決

図1. 我が国における牛サルモネラ症発生戸数

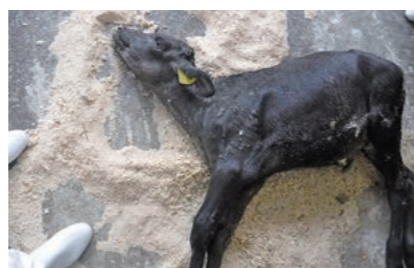
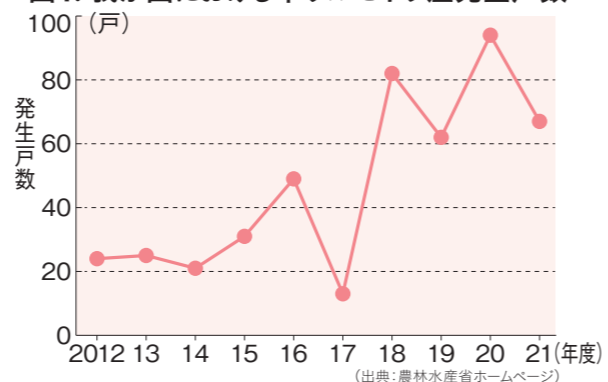


写真2. 神経症状を呈した子牛

まります。牛サルモネラ症は暑熱による免疫力低下が起き、気温上昇により菌の環境汚染度が高まる夏～秋にかけて発生が増加します。

2 対策の基本

①定期的な牛舎の清掃と消毒

環境中の汚染レベルを常に下げることが大切です。特に汚染されやすい場所は、分娩房(分娩ストレスによる母牛の排菌による汚染)、哺育舎(発症子牛による汚染)です。牛舎全体の清掃・消毒は

当然大切ですが、まずはこの2カ所について重点的に作業することが必要です。牛房全面への石灰塗布はとても効果的です(写真3)。また、持ち歩きができる簡易的な発泡消毒器や石灰塗布機も開発されています(写真4)。



写真3. 哺育牛房への石灰塗布



写真4. 手持ち式石灰塗布機



写真5. 哺育舎専用長靴の設置

②サルモネラの侵入防止と農場内拡散防止

サルモネラは主に導入牛や野生動物を介して農場に侵入します。導入牛は一定期間単飼して、健康状態のチェック後に牛群に加えましょう。着地検査でサルモネラを保菌していないことを確認できるとより安心です。導入頭数が多く着地検査ができない場合は、環境等から定期モニタリングをすることで、サルモネラ侵入の早期発見・対応ができます(図2)。

ネズミやカラスなどの野生動物がサルモネラを保菌している場合

もあります。野生動物の餌になるようなこぼれ餌の掃除や、隠れ場所をなくすための除草・整理整頓、防鳥ネットの設置などが効果的です。

農場内でのサルモネラの伝播の原因として忘れてはならないのは人です。特に、糞便が付着しやすい作業靴は作業後に小まめに洗い、消毒し、清潔に管理しましょう。牛舎間での伝播リスクを減らすため、牛舎専用長靴を用意して徹底管理している農場もあります(写真5)。

③異常牛の早期発見と速やかな隔離

農場でのサルモネラ清浄化対策に要する期間は、発生時のサルモ

ネラ保菌牛の頭数に比例して長くなります。これは、異常牛の発見が遅れて、牛群でサルモネラが広がれば広がるほど、対策期間が長引き被害が大きくなるということです。日々の農場作業の中で、牛を観察する時間を確保することが大切です。1人の担当者だけではなく、複数人でチェックする体制を作っている農場もあります。

④ワクチン

牛サルモネラ症のワクチンは、現在2社から販売されています。しかし、これらのワクチンはサルモネラ・ティフィムリウム(ST)、サルモネラ・ダブリン(SD)に対して効果が期待できるものなので、農場で問題になっている血清型によって使用の判断をしなければなりません。また、ワクチンは要指示薬なので、使用については獣医の指示に従ってください。

図2. クリニック検査によるサルモネラ定期モニタリングの対応事例

定期検査		早期対応
4月	5月	
サルモネラ陰性 (検体: 糞便スワブ 牛床 水槽)	サルモネラ陽性 薬剤感受性試験によって 抗菌剤の効きにくい菌が検出	施設や器具の消毒強化、有効性を示す抗菌剤の選択等を実施

3 早期対応の重要性

牛サルモネラ症の対策は、血清型によって変わります。また、近年では一部の抗菌剤が効きにくいサルモネラも確認されています。更に、下痢でなく呼吸器症状が強く出る血清型も報告されているため、一般的

な呼吸器病対策で状況が好転せず、検査の結果、サルモネラ症と判明し、初動対策が遅れてしまった事例もあります。従って、疑わしい症状については専門的な検査・確認が大切です。

JA全農家畜衛生研究所クリニックセンターではサルモネラ検査や薬剤感受性試験を実施しています。検査をご希望の際には、管轄のJA・経済連・くみあい飼料・県本部にご相談ください。

地域に愛される「ながさき健王豚」 豚肉の「地産地消」が定着



「ながさき健王豚」の厚切りロース

長崎県のJAながさき県央養豚部会は、少数精鋭で「ながさき健王豚」を愛情込めて育て、地元で愛されるブランドとして定着させた。「諫早で生まれ諫早で育ったブランド豚」をコンセプトに、「まろやかで風味豊かな美味しさ」「豚肉の「地産地消」」を諫早市民らにアピール。生産が始まって17年、生産者とJAながさき県央・Aコープ店をはじめとするJAグループが一丸となって、養豚振興と消費拡大に取り組んでいる。



1

【取材協力店】
JAながさき県央Aコープ西諫早店
長崎県諫早市山川町1-5
TEL.0957-26-7783

- ① 充実した品揃えが人気のAコープ内の精肉売り場
- ② 売り場でもひと際目を引く「ながさき健王豚」の精肉パック
- ③ 地場産を消費者にPRする取り組み



2



3

上質な甘み、きめ細かい肉質
Aコープ店で定番の人気商品

「ながさき健王豚」は、深みのある味わいと上質な甘み特徴だ。肉質はきめ細かく、脂身はさらっと軽く後味がさっぱり。なべ物やしゃぶしゃぶなどのさまざまな料理に合う。

諫早市の住宅街にあるJAながさき県央Aコープ西諫早店の精肉売り場は、夕方近くになると「ながさき健王豚」を買い求める客でにぎわう。比較的高齢者が多い地域ということもあり、ロース（しゃぶしゃぶ、生姜焼き用）、肩ロース（トンカツ用）、もも（炒め物用）の人气が高い。同店の豚肉取り扱量の8割は「ながさき健王豚」で、同ブランドだけで年間1000頭（Aコープ店舗全体で約3200頭）を取り扱う。佐藤正和副店長は「食べれば美味しさが分かる。味が全然違う。脂に甘みがあり、特有のにおいがいい。ブロックで買う人も多い。今後はトレーの色を変えて高級感を出して売っていきたい」と自信をもって話す。

長崎市にあるAコープレストラン長崎店では、「ながさき健王豚」を使った健王豚野菜炒め定食、カレー、健王豚生姜焼き定食、かつ丼、かつカレー



JAながさき県央Aコープ西諫早店 副店長の佐藤正和さん

が定番メニューとして並ぶ。長崎港に面した観光スポットに位置していることから、「長崎の味が手軽に味わえる」と観光客にも好評だ。

健康に育った「豚肉の王様」 美味しさの鍵は独自飼料

「ながさき健王豚」は、すくすくと健康に育てられた豚肉の王様という意味があり、文字通り、「衛生的な環境で、安心して食べてもらえるよう、健康に育てる」ことを使命としている。

全農のハイコップSPF豚から生まれたブランド豚で、大ヨークシャーとランドレースの交配種とテテロックを掛け合わせた三元豚だ。

美味しさの鍵は、ジェイエイ北九州くみあい飼料（株）がJA・生産者の要望に応じて開発した独自飼料、米を配合した「健王ブレンド」にある。ト

ウモロコシをメインに、飼料用米と小麦を配合している。「豚がよく育ち、肉締まりが良くなるように工夫している」と同社の担当者は説明する。



また、育てていく上で課題となるのが、病気と事故の対策だ。同社は、全農家畜衛生研究所クリニックスセンター九州分室やJAなどの関係機関と連携し、農場の衛生検査を進めている。離乳舎での子豚の事故防止や、肥育豚の病気の早期発見と対策が重点だ。衛生検査は獣医師が夏、冬に農場を訪れて、採血、採糞、鼻汁採取などを行い、豚の状態を診断して生産者にアドバイスする。また、農場衛生プログラムの見直しを目的とした検査も進めている。



1 豚の管理を行う東川伸太郎さん
2 トウモロコシをメインにした配合飼料「健王ブレンド」
3 JAながさき県央畜産課長の山口敏郎さん(左)、東川農場の東川健治さん(中央左)、ジェイエ北九州くみあい飼料係長の石橋慶一さん(中央右)と東川農場を担当する同くみあい飼料の原田享汰さん



4 東川健治さんと息子の伸太郎さん
5 乳に吸いつく子豚たち
6 離乳舎の外観
7 もみ殻が敷き詰められた肥育舎。豚たちも心地よさそうに寝転ぶ

知名度は年々上昇 SNSも活用

「ながさき健王豚」の地元での知名度は、JAながさき県央や養豚部会などの活動によって年々高まっている。諫早地方農業まつり「実りのフェスティバル」では、焼き肉の試食・販

売を実施。子どもを持つ若い家族連れに人気だ。コロナ禍で2年間開催されていないが、終息後には再開し、アピールすることとしている。昨年、オリジナルの法被をリリースした。消費宣伝でもこれにも目立つようにと、赤色を採用。背中には「諫早生まれ、諫早育ちのながさ

地域養豚の維持へ 4戸で年間約8000頭出荷

JAながさき県央養豚部会は、農家戸数や、飼養頭数が減っていく中で、打開策を探ろうと2003年に発足。2005年にハイコブ豚の導入と「ながさき健王豚」のブランド名が決まり、スタートした。現在、4戸が年間約8000頭を出荷している。

諫早市北部、山の中腹に、同部会部会長、東川健治さん(61)が経営する東川農場の豚舎がある。息子の伸太郎さん(36)と2人で、種雄豚3頭、母豚90頭、計1000頭を肥育する。年間出荷頭数は約2000頭だ。出荷までの日齢は180日齢、出荷体重115kgまで肥育し出荷している。

豚の飼育方法、衛生管理、疾病予防対策は、ジェイエ北九州くみあい飼料やJA全農からの指導を受けている。スリーセブン方式導入もその一つ。スリーセブン方式はオールイン・オールアウトを目的としたグループ管理手法の一つで、東川さんは母豚を7グループに分け、3週間間隔で交配、分娩、離乳をする。母豚1グループは13頭、1頭あたりの産子数は14

き健王豚」を大きくデザインしている。味を知ってもらう取り組みも進めている。諫早市役所の食堂は、地産地消スシヤルメニュー「ながさき健王豚の黒酢酢豚と諫早タマネギのステーキ」を提供し、好評だった。同市のふるさと納税の返礼品としても扱っている。またJA役員に幹旋し、月1回、購入を取りまとめた発注。取引先や関係機関の協力もあり、夏、秋の2回、地産地消企画を行っている。

今年取り組みをパワーアップした。Aコープが初めてエフエム諫早の放送で、「ながさき健王豚」をPR。JA畜産部も同じくPR企画を行う予定だ。SNS(会員制交流サイト)の活用も始める。JA(広報担当者)は、1月から農畜産物を写真動画投稿アプリ「インスタグラム」にアップしているが、今後、「ながさき健王豚」の画像や動画もアップする予定だ。諫早産の農畜産物ファンのフォローから「いいね」が増え、消費が伸びることを期待している。9月には西九州新幹線(長崎新幹線)開業に併せたキャンペーンも検討している。

ブランド立ち上げから17年。昨年まで6年間、養豚部会長を務めていた山本義則さん(63)は「健王豚は旨味成分である『オレイン酸』の



養豚部会について語る部会長の東川健治さん

15頭。人工授精開始で、産子数が増したが、グループ管理ができるため、里子がしやすくなった。また、種付け・分娩・離乳が集中するため管理がしやすく、作業者の休みを確保できるというメリットがある。東川さんは「豚の下痢や肺炎には注意しています。子豚は離乳までが最も大事。肥育でいかに事故を無くすかも重要です」という。そのため、肥育豚舎はもみ殻を40cm敷き詰めている。木々に囲まれ直射日光が当たりにくい構造で、大型換気扇が回り、風通しが良く、鳥よけの網も備えている。元氣よく過ごす姿を見ながら、「豚にとって快適な環境を心がけています。事故率も低下しました」という。豚糞は農場内でたい肥化し、販売している。

測定や食味検査を重ね、みんなで立ち上げたブランド豚。脂身は白くて甘味があり、肉質はきめ細かくてやわらかく、しっとりしてツヤがある豚肉に仕上がっている」と自信を持つ。「豚肉の美味しさは確かだ。消費者にもっと積極的にPRし、ファンとなっていきたい」と期待している。



8 昨年末まで養豚部会長を務めていた山本義則さん
9 揃いの法被に身を包んだ様子

たかはし畜産の年表

- 1987年 将也さん誕生
- 2010年 大学卒業後、地元の銀行に入社
- 2014年 地元の農村風景を守る一助になりたいとして就農を決意
- 2016～ 畜産試験場での研修を経て、先進的な営農を行う畜産農家(株)ライブストックさとうにノウハウなどを学ぶ
- 2017年 (株)たかはし畜産を設立
- 2018年 畜舎完成。「第21回由利畜産共進会」に出品した育成牛が「最優秀賞」(秋田県知事賞)を受賞

【農場データ】

農場名:株式会社たかはし畜産
住所:秋田県由利本荘市
東由利館合字新田135-1
飼養頭数:母牛70頭
農地面積:水稲約8㍓ 採草地約5㍓



1 広々とした開放型の畜舎 2 粗飼料給餌を助けるボールフィーダー
3 哺乳ロボットに集まる子牛たち
4 笑顔が絶えない高橋さんとJA秋田しんせいの佐藤大地さんとの打ち合わせ
5 堆肥づくりを行う高橋さん



未来を創る

新たな担い手たち

高橋さんへエール!

エールを送る人
(株)ライブストックさとう、佐藤弘さん



当農場へ研修に来た当初は、父親の繁殖牛プラス20頭くらいの規模を考えていたようですが、機械・設備や飼養管理方法に触れ、当農場と同じような環境で80頭規模を目指そうと変化していったように感じています。子牛販売と受精卵採卵事業をしていますが、大切なことは子牛販売を柱として強くしていくこと、そして本人の経営力だと思います。現在、畜産を取り巻く情勢は厳しいですが、この難局を持ち前の行動力・実行力で乗り越えていきましょう。

地域農業を守るため
銀行員から転身

秋田県由利本荘市に銀行員から転身し、黒毛和種の繁殖に取り組み若手農家があります。株式会社たかはし畜産で代表取締役を務める高橋将也さん(35)です。国の畜産クラスター事業などを活用して3年前に整備した畜舎で増頭し、現在70頭にまで規模を拡大しました。効率的な経営を追い求めながら、故郷の農村の景観などを守るために着実に歩んでいます。

高橋さんの畜舎は、山々を望む同市東由利地区の水田地帯にあります。約1400㎡の畜舎は元々、祖父や父が耕してきた水田を活用し整備しました。天井の高い、通気性の良い開放型になっており、母牛と生まれた子牛を基本的に1人で育てています。

故郷の暮らし「守りたい」
別経営でもこだわりを引き継ぐ

大学卒業後、Uターンして地元銀行に就職しましたが、4年間の勤務を経て将来設計を見直すことにしました。「農家の高齢化が進む中、地元の景色や兼業農家の父が担う稲作と畜産業の地域における大切さを改めて考えました」という高橋さん。「大好きな地元での暮らしを維持・継続して守りたい」との思いから就農を決意。先進農家の(株)ライブストックさとうで研修を重ね2018年、父とは経営を別にして新たに法人を立ち上げました。畜産クラスター事業などを活用して整備した畜舎が19年に完成、父から買い取った母牛6頭を導入して繁殖農家としてスタートを切りました。

共進会や市場に向いた際の情報交換も大事にしています。肥育農家のニーズを探る研究の機会だからです。「銀行員時代に取引先に合わせた金融商品を提案していたのと同じ」と、当時の経験が生きています。またSNSなどで情報を得て、「発育良好で血統の構成が良い」牛づくりを目指しています。就農当時からこうした姿を見てきた北日本くみあい飼料の担当者は「高橋さんはとにかく勉強熱心。常に情報を収集して経営にどう活かせるかを考えています」と話します。

省力化や自給飼料に注力
堆肥の商品化も視野

土・日曜など一部を除き1人で経営しているため作業の効率化は重要です。母牛向けには牧草など粗飼料を与える給餌機、子牛向けには、哺乳ロボットを導入し活用しています。成長ステージに合わせて、ストレスをかけない管理を行っています。今は牛の分娩目標である確実な1年1産の実現へ、発情発見装置を活用して省力化と生産性向上を目指す考えです。また、自給飼料にもこだわっています。

畜舎に隣接する圃場(水田)を活用して稲発酵粗飼料(稲WCS)を生産するなど、高橋さんはできることから取り組むことを心がけています。飼料価格をめぐっては、今後も高値続きが予想されることから、粗飼料の生産体制の見直しを検討。「稲WCSを収穫した後の田んぼを使わないのはもったいない」として二毛作の可能性を模索しています。

敷料などについても戻し堆肥としての有効活用や、堆肥の商品化も見据えて検討しており、資源循環型農業の構築を目指しています。将来的には堆肥を地元の土づくりに活かしてもらうことを目指すなど夢は尽きません。

東由利地区は県内でも黒毛繁殖経営が盛んな地域です。高橋さんは「研修先を含めて経験豊富な大勢の先輩農家から日々学んでいます」と感謝します。作業の際にかかっていたキャップには「自分の信じる道を行け」との文言がありました。「学生時代とともに歩んできたスキー仲間へのメッセージ」としながらも、前進し続ける高橋さん自身へのエールにも見えました。

農業経営に役立つリースセミナー 無料

皆さま、「リース」についてご存じでしょうか。「リースという言葉は聞いたことはあるけど、詳しくは分からない」という生産者の方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

今回は、JA三井リース株式会社を取り扱っている畜産経営に役立つリースについて、基礎から応用まで学べるオンラインセミナー（無料）をご紹介します。

JA三井リース株式会社では、自動給餌機、分娩監視装置、飼料タンク、非常用発電機、ホイロローダー等、畜産経営に必要となるあらゆる機械や設備、更には牛・豚・鶏などの生物の減価償却資産、畜舎の屋根に敷設する自家消費型太陽光発電設備などの再生可能エネルギー

ギー分野まで、多様な設備投資を支援するリース&ファイナンス商品を提供しています。2021年3月からオンライン形式（Zoom）での無料セミナーを始め、22年6月の時点で、開催回数は100回を超え、延べ550名以上の皆さまにご参加いただきました。

これまでのリースに対する割高なイメージや、「結局自分の所有にはならない」とお考えの方にとって、従来のリースの常識がひっくり返る内容となっています。

充実したセミナー内容

セミナーでは、リースの仕組み、特徴、メリットやデメリットなどの解説を主とした「入門編」と、複数の生産者で機械を共同利用したくシニアリース、法人化や事業承継にともなう資産承継のサポート（資産査定から買取・リースまで一貫通貫でサポートします）、新規就農支

援、税務会計面の耳寄り情報、畜産分野での取り組み事例まで、リースの枠を超えたさまざまな情報をお届けする「応用編」の二部構成となっています。

セミナーの開催時間は、毎週木曜日の19時から約60分間。各回とも参加人数が5名前後の少人数で行います。分からないことや気になることを講師に質問して、不明点を確認することができます。

導入事例



飼料タンク



非常用発電機



ホイロローダー



牛・豚・鶏など

リースセミナー（無料）参加の申し込み

セミナーに興味がある方は、スマートフォン等のカメラで以下コードを読み込み、申し込みフォームに必要事項を記入のうえ、お申し込みください。

●開催時間：毎週木曜日19時～（約60分）

●参加人数：各回5名前後



※個別での開催、曜日の変更をご希望の方は、「その他」の欄にご記入ください。

具体的事故事例（保険金が支払われる場合）



★火災・爆発・破裂 ★地滑り・岩崩れ ★橋・建物の崩壊 ★落雷 ★雪崩・雪害 ★盗難 ★悪戯
★交通機関の事故 ★風水害 ★破損・汚損 ★雨・淡水漏 ★電害 ★外部からの物体落下など

リースを活用して 自然災害のリスクを ヘッジ（転嫁）する

近年、台風や積雪による施設の倒壊、洪水による機械の水没、落雷によるICT機械の故障等の相談が相次いでいます。このような自然災害リスクは年々高まってきており、自ら畜産経営を守るといふ観点からも、リースを損害保険でヘッジすることも検討する必要があります。

リースのヘッジを行う際の最初の悩みとしてよくあるのが、損害保険（公的・民間）の種類が多く、何を選べばよいかよく分からないということです。特に、畜産のような固定費が大きい業種においては、リースが大きいことから通常よりも保険料（掛け金）が割高になるため、加入を躊躇うちよする方も多いようです。しかし、そのようなお悩みも「リース」で解決することができます。畜産用の機械や設備をリースする場合には、必ず「農機動産総合保険」という損害保険が付保しされており、安心して機械設備をお使

「農機動産総合保険」とは？

*左記の内容はJA三井リースが付保する保険内容となっています。

①作業中の偶発的な事故（例えば、ホイロローダーをどこかにぶつけてしまった、横転してしまっ（全損）の場合は、未払いのリース料相当額を補填し、契約終了となります。

②保険免責事由（保険金が払われないケース）は以下の通りです。故意・重大な過失、置き忘れ・紛失、使用人等の不正行為、戦争、その他変乱地震・噴火・津波、道路走行中の損害、自然損耗・変質等

③保険金額は、リース期間経過とともに通減します（保険金額≠未払いのリース料相当額）。なお、

修理可能な場合は修理代金が保険金額の上限内で支払われ、修理不能（全損）の場合は、未払いのリース料相当額を補填し、契約終了となります。

損害保険に未加入の場合、自然災害等で機械や設備が全損してしまった時には、その設備の取得費用が水の泡になり、再調達のために更なる資金が必要となります。

リースをヘッジする損害保険はさまざまありますが、今回ご紹介したような損害保険つきリースという方法もあります。ご自身で損害保険に加入する場合と比べてメリット（広い補償範囲）があるかもしれません。一度比較してみてくださいいかがでしょうか。

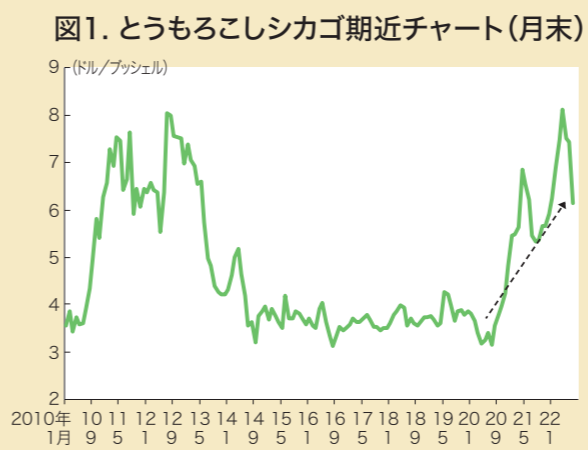
とうもろこしの価格高騰

世界の需給と米国産の生育状況

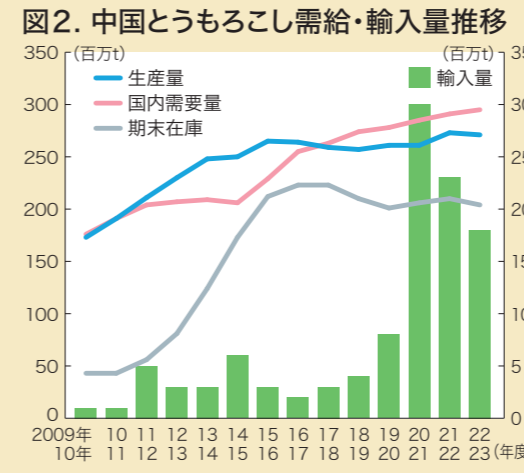
米国の2022/2023年産とうもろこしの作付けは、平年並みのペースで終了しました。6月現在、作柄は良好ですが、世界の需給は依然ひっ迫していることから、価格は数年ぶりの高値圏で推移しています。今回は、とうもろこしの価格が高騰している要因を2020年に遡って説明します。

**中国の需要急増で
世界最大の輸入国に**

米国では大干ばつで2012年に相場が高騰しましたが、その後は豊



作が続き、2014～19年にかけて1ブッシェル^{※1}あたり3ドル台を中心に推移していました(図1)。しかし、20年夏頃から中国向けの需要が急増する一方、20年夏は米国の産地



が高温暖乾燥に見舞われたため生産量は減少し、相場は上昇に転じました。(※1とうもろこしの1ブッシェルは25・401kgに相当)
中国ではもともと、とうもろこしは3大穀物(米・小麦・とうもろこし)の1つで、自給が前提とされてきました。このため関税割当制度^{※2}に720万tの輸入枠があるのみで(対する中国の国内需要は3億t弱)、輸入量は2018/2019年度までは多くても500万t程度でした。ところが、2020年にアフリカ豚熱からの回復などをきっかけに、需要が国内生産を上回ったことで、20年7月から米国産とうもろこしを大量購入する動きが加速。



全農グレイン(株)で働く全農駐在員の皆さん

【拠点紹介】

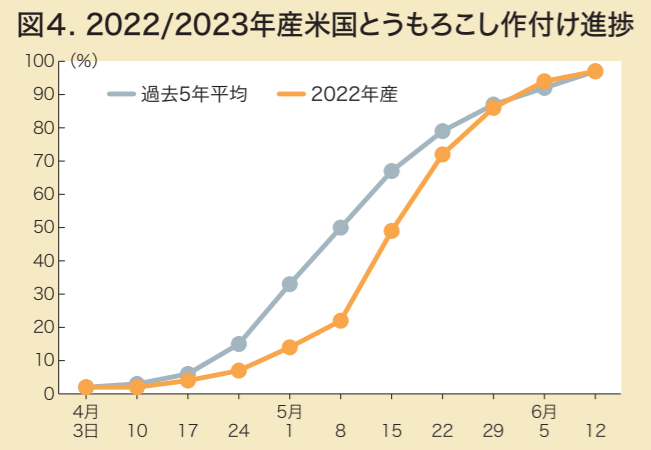
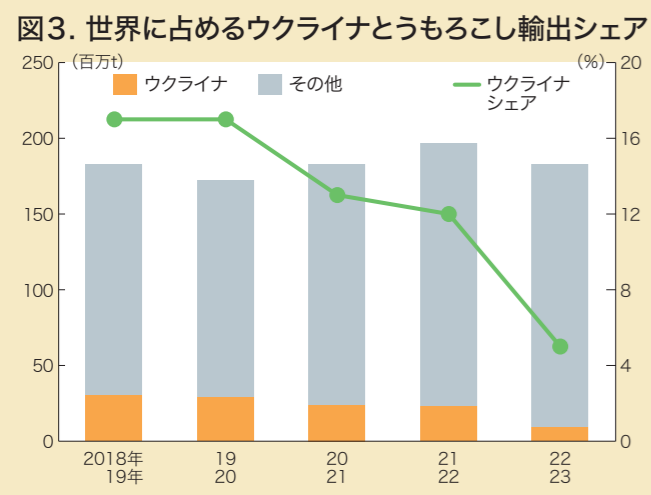
全農グレイン株式会社
全農グレイン株式会社は1979年にJA全農グループの米国における穀物輸出基地として設立されました。設立以来、内陸集荷基盤強化や保有する輸出エレベーターの増強も図られ、強固な集荷・輸送・輸出の一貫サプライチェーンの構築を実現しています。

その結果、2020/2021年度は米国産を2250万t成約し、ウクライナなど他国を合わせた中国の輸入量は関税割当枠を大きく上回る2950万tにまで増加したと推測されます。2020/2021年

度の2950万tは世界の輸入量の16%に相当し、世界最大のとうもろこし輸入国となりました(図2)。(※2関税割当制度…720万tの枠内輸入の関税率は1%、枠外は飼料用・食品用で同65%)

**ウクライナ侵攻で
需給ひっ迫**

2022年に入ると南米の作柄悪化を受け、シカゴ相場が約10年ぶりの高値水準で推移している中、2022年2月にロシアによるウクライナ侵攻が始まり、更に一段相場を押し上げる結果となりました。ウクライナとロシアはいずれも農



産物の輸出大国であり、2カ国の世界の輸出シェアは小麦や大麦で3割、とうもろこしで約2割(ウクライナがメイン)を占めています。また、ヒマワリ油を中心とした植物油のシェアも高く、この2カ国の軍事衝突は穀物相場へ多大なる影響を及ぼしました(図3)。需給ひっ迫につながる要因を大きく分けると、次の3点が挙げられます。

1つ目は、この2カ国からの輸出の停滞です。ウクライナの穀物輸出の最大の拠点はウクライナ南部のオデッサ港ですが、7月22日現在、黒海沿岸はロシア艦隊により海上封鎖されており、船舶の往来ができません。

なっています。一方、ロシアは西側諸国からの経済制裁を受けており、それぞれ輸出量が大きく減少しています。2つ目は、ウクライナでの22年春からの作付けが軍事侵攻により妨げられるという点です。3つ目はロシア、ウクライナからのエネルギー資源や肥料の輸出が停滞することで、農業用資材の高騰、供給不足となり、世界全体での生産コスト上昇を招いた点です。特に燃料や肥料価格の高騰は新型コロナウイルスからの需要回復を受け21年頃から既に始まっていたが、主要生産国であるロシアへの制裁により、これらの需給がより一層ひっ迫することとなりました。

特にとうもろこしではウクライナの輸出停滞によって、世界の穀物需要が南米や米国へシフトする流れを生みました。需要が増加した米国では在庫が減少するとの思惑の下、22年4月には一時8ドル台まで価格が上昇しました。7月時点では5ドル台後半まで下落していますが、引き続き高値圏で推移しています。

**米国産に高まる期待
6月時点では作柄順調**

さて、世界的に需給がひっ迫し、

価格が高騰する中、世界最大のとうもろこし生産国である米国の生育状況が一層注目されています。米国では4～5月頃にかけて作付けされる受粉期を迎えます。この受粉期は高温乾燥の天候を嫌い、適度な降雨及び気温が必要とされますが、夏場の最も暑い時期に受粉期を迎えると、受粉が上手くいかずに単収の減少要因となります。そのため、早期に作付けを終えることが豊作への第一歩となります。

2022/2023年産については、4月は冷涼多雨な天候が続く、土壌水分が多かった影響で作付けが遅れる場面がありました。ただ、5月中旬以降は天候が回復したことで、急ピッチで作付けが進み、最終的には平年並みのペースで作付けを終えることができました(図4)。このため、夏場の天候次第ではあるものの、6月時点では順調な生育が期待されています。ただし、今後も極端に乾燥したり、また完熟ステージ前に気温が下がり霜の被害が発生すると、単収を押し下げる要因となりますので、引き続き産地の天候が注目されます。

和牛枝肉共励会・子牛市場情報



和牛枝肉共励会情報

表の見方: ①各共励会の受賞牛の上位2位を掲載。②順位がない場合は、単価上位2位を掲載。③平均値は全体成績の平均。

血統			種	性	出荷体重 (kg)	枝肉重量 (kg)	枝肉歩留	単価 (円)	格付	歩留等級		肉質等級	販売価格 (円)
父	母の父	母の祖父								ロース芯面積 (cm)	バラの厚さ (cm)		

◎令和4年6月17日(東京食肉市場) 栃木県・第11回JAうつのみや肥育牛部会枝肉研究会 (和牛去勢30頭、F1去勢5頭、F1雌1頭 合計36頭出品)

茂福久	百合茂	安糸福	和	去勢	564	564	66.7	2,707	A5	111	9.4	12	1,526,748
美国桜	勝忠平	安福久	和	去勢	451	451	66.7	2,754	A5	91	7.9	11	1,242,054
(平均値)					—	(572.6)	—	(2,248)		(81.1)	(8.7)	(8.1)	(1,278,568)

◎令和4年6月22日(東京食肉市場) 宮城県・第1回JA新みやぎ肥育牛部会みどりの支部肉牛枝肉共進会 (和牛去勢20頭、雌10頭 合計30頭出品)

美津照重	美国桜	勝忠平	和	去勢	865	567	65.5	3,281	A5	105	9.4	12	1,860,327
若百合	安福久	平茂晴	和	去勢	860	572	66.5	3,014	A5	100	9.3	12	1,724,008
(平均値)					(830.3)	(538.6)	(64.8)	(2,574)		(77.6)	(8.8)	(9.3)	(1,385,942)

◎令和4年6月23日(東京食肉市場) 福島県・令和4年度「福島牛」県南JA枝肉共励会 (和牛去勢19頭、雌5頭 合計24頭出品)

徳悠翔	安福久	平茂勝	和	去勢	—	567	—	2,776	A5	91	9.5	12	1,573,992
福増	華春福	百合茂	和	去勢	—	661	—	2,642	A5	96	9.2	12	1,746,362
(平均値)					—	(518.9)	—	(2,311)		(68.3)	(8.7)	(8.5)	(1,204,009)

◎令和4年7月5日(東京食肉市場) 宮城県・令和4年度JAみやぎ登米肉牛部会石越支部「仙台牛」枝肉研究会 (和牛去勢20頭、雌4頭 合計24頭出品)

茂福久	隆之國	安福久	和	去勢	860	559	65.0	3,001	A5	101	9.0	12	1,677,559
美津照重	安福久	百合茂	和	去勢	790	518	65.6	2,685	A5	71	8.5	12	1,390,830
(平均値)					(782.1)	(517.0)	(66.1)	(2,532)		(71.5)	(8.3)	(9.1)	(1,311,636)

◎令和4年7月5日(東京食肉市場) 栃木県・第139回JAなすの肥育牛部会和牛枝肉研究会「とちぎ和牛」 (和牛去勢40頭出品)

福華1	美国桜	平茂勝	和	去勢	—	667	—	2,842	A5	96	9.2	12	1,895,614
幸紀雄	安福久	平茂勝	和	去勢	—	629	—	2,671	A5	111	9.7	12	1,680,059
(平均値)					—	(579.5)	—	(2,464)		(83.8)	(8.9)	(9.7)	(1,427,484)

◎令和4年7月6日(東京食肉市場) 栃木県・第7回塩谷南那須地方銘柄牛枝肉研究会 (和牛去勢41頭、雌8頭、F1去勢6頭 合計55頭出品)

勝乃幸	安福久	平茂晴	和	去勢	—	572	—	2,867	A5	119	9.7	12	1,639,924
幸紀雄	安福久	安平	和	去勢	—	586	—	2,800	A5	114	10.2	12	1,640,800
(平均値)					—	(582.2)	—	(2,278)		(77.4)	(9.1)	(8.0)	(1,325,187)

◎令和4年7月7日(東京食肉市場) 宮城県・令和4年度みやぎ山南農協角田肉牛部会枝肉共進会 (和牛去勢24頭出品)

光平照	耕富士	百合茂	和	去勢	775	517	66.7	3,051	A5	90	9.1	12	1,577,367
茂洋	安福久	百合茂	和	去勢	855	566	66.2	2,739	A5	94	8.3	12	1,550,274
(平均値)					(837.7)	(568.0)	(67.8)	(2,455)		(76.7)	(8.9)	(9.1)	(1,393,326)

◎令和4年7月7日(東京食肉市場) 福島県・第48回JAふくしま未来肉牛枝肉共励会 (和牛去勢21頭、雌3頭 合計24頭出品)

茂福久	勝早桜5	安福久	和	去勢	—	554	—	2,704	A5	116	8.9	12	1,498,016
幸紀雄	諒太郎	安福久	和	去勢	—	659	—	2,630	A5	96	11.1	11	1,733,170
(平均値)					—	(549.9)	—	(2,315)		(76.7)	(8.9)	(8.9)	(1,275,256)

◎令和4年7月8日(東京食肉市場) 新潟県・令和4年度村上牛枝肉研究会 (和牛去勢21頭、雌3頭 合計24頭出品)

勝吾	安福久	勝忠平	和	雌	—	456	—	2,997	A5	79	9.2	12	1,366,632
福之姫	美国桜	安福久	和	去勢	—	580	—	2,917	A5	89	9.8	11	1,691,860
(平均値)					—	(538.5)	—	(2,618)		(71.5)	(8.8)	(8.9)	(1,412,900)

◎令和4年7月12日(東京食肉市場) 宮城県・令和4年度JAみやぎ登米肉牛部会迫支部「仙台牛」枝肉研究会 (和牛去勢21頭、雌3頭 合計24頭出品)

白鵬85の3	安福久	平茂勝	和	去勢	790	522	66.1	3,051	A5	91	9.5	12	1,592,622
百合茂	安福久	平茂勝	和	去勢	790	530	67.1	2,903	A5	92	8.4	12	1,538,590
(平均値)					(839.2)	(546.3)	(65.1)	(2,462)		(72.4)	(8.9)	(8.5)	(1,349,379)

◎令和4年7月13日(東京食肉市場) 栃木県・第47回JAおやま肉牛枝肉研究会 (和牛去勢29頭、雌2頭 合計31頭出品)

福之姫	百合茂	安福久	和	去勢	875	613	70.1	2,800	A5	121	10.3	12	1,716,400
隆之國	勝忠平	白清85の3	和	去勢	900	618	68.7	2,657	A5	80	10.4	12	1,642,026
(平均値)					(838.2)	(551.1)	(66.0)	(2,364)		(73.8)	(8.8)	(9.1)	(1,305,065)

◎令和4年7月14日(東京食肉市場) 栃木県・匠の味「とちぎ和牛」第3回JAしもつ肉牛部会枝肉研究会 (和牛去勢22頭、F1去勢2頭 合計24頭出品)

福増	第1花園	百合茂	和	去勢	—	612	—	2,697	A5	111	9.1	11	1,650,564
福之姫	安福久	百合茂	和	去勢	—	505	—	2,699	A5	95	8.8	12	1,362,995
(平均値)					—	(554.1)	—	(2,339)		(74.7)	(8.7)	(8.9)	(1,300,064)

◎令和4年7月15日(東京食肉市場) 青森県・令和4年度あおり倉石牛枝肉研究会 (和牛去勢21頭、雌3頭 合計24頭出品)

福之姫	幸紀雄	安福久	和	去勢	—	507	—	2,700	A5	82	9.1	12	1,368,900
百合白清2	美津照重	百合茂	和	去勢	—	529	—	2,702	A5	76	8.6	11	1,429,358
(平均値)					—	(497.0)	—	(2,283)		(64.9)	(8.5)	(8.3)	(1,132,883)

血統			種	性	出荷体重 (kg)	枝肉重量 (kg)	枝肉歩留	単価 (円)	格付	歩留等級		肉質等級	販売価格 (円)
父	母の父	母の祖父								ロース芯面積 (cm)	バラの厚さ (cm)		

◎令和4年7月21日(東京食肉市場) 栃木県・第6回JAうつのみや・JAかみつが肉牛枝肉研究会 (和牛去勢35頭、雌1頭 合計36頭出品)

百合白清2	安福久	平茂勝	和	去勢	—	604	—	2,994	A5	76	10.3	12	1,808,376
若百合	安福久	忠富士	和	去勢	—	601	—	2,860	A5	112	9.7	12	1,718,860
(平均値)					—	(563.8)	—	(2,419)		(79.3)	(8.8)	(9.0)	(1,364,459)

◎令和4年7月22日(東京食肉市場) 山形県・第27回JA庄内みどり肉牛枝肉共励会 (和牛去勢20頭、雌4頭 合計24頭出品)

茂晴花	百合茂	白清85の3	和	去勢	770	517	67.1	2,673	A5	84	8.2	11	1,381,941
美津照重	百合茂	北国7の8	和	去勢	880	595	67.6	2,651	A5	103	9.6	12	1,577,345
(平均値)					(817.9)	(547.0)	(66.9)	(2,370)		(74.1)	(8.8)	(8.0)	(1,298,036)

◎令和4年7月27日(東京食肉市場) 宮城県・令和4年度第1回JAいしのまき肉牛部会枝肉共励会 (和牛去勢19頭、雌5頭 合計24頭出品)

諒太郎	美国桜	平茂勝	和	去勢	850	551	64.8	2,903	A5	94	8.5	12	1,599,553
百合白清2	安福久	安平	和	去勢	890	599	67.3	2,766	A5	87	9.7	12	1,656,834
(平均値)					(834.0)	(546.1)	(65.4)	(2,468)		(71.0)	(8.7)	(8.8)	(1,353,259)

◎令和4年7月27日(東京食肉市場) 宮城県・第7回宮崎牛共励会 (和牛去勢25頭、雌23頭 合計48頭出品)

富久竜	清福久	秀菊安	和	雌	664	442	66.6	4,001	A5	71	7.8	12	1,768,442
耕富士	美穂国	忠富士	和	雌	713	486	68.2	2,868	A5	74	9.1	12	1,393,848
(平均値)					(776.1)	(516.8)	(65.2)	(2,538)		(79.0)	(9.1)	(9.5)	(1,308,423)

◎令和4年7月28日(東京食肉市場) 岩手県・第6回花巻農協肥育部会枝肉共励会 (和牛去勢19頭、雌5頭 合計24頭出品)

福之姫	安福久	—	和	去勢	840	568	67.6	2,772	A5	81	8.7	12	1,574,496
菊勝久	福乃百合	—	和	雌	725	467	64.4	2,722	A5	72	8.1	11	1,271,174
(平均値)					(789.6)	(521.3)	(66.3)	(2,286)		(69.2)	(8.5)	(8.1)	(1,194,628)

◎令和4年7月28日(東京食肉市場) 福島県・第23回「福島牛」牛友会枝肉研究会 (和牛去勢26頭、雌7頭 合計33頭出品)

諒太郎	第1花園	高栄	和	雌	—	525	—	2,754	A5	92	8.8	12	1,445,850
美津照重	百合茂	安福久	和	去勢	—	560	—	2,605	A5	93	9.4	12	1,458,800
(平均値)					—	(545.9)	—	(2,357)		(74.8)	(9.0)	(9.0)	(1,284,919)

◎令和4年7月29日(東京食肉市場) 茨城県・全農茨城県本部常陸牛枝肉研究会 (和牛去勢34頭、雌5頭 合計39頭出品)

福之姫	百合茂	安福久	和	去勢	—	582	—	2,878	A5	111	9.6	12	1,674,996
幸紀雄	美国桜	平茂勝	和	去勢	—	575	—	2,830	A5	124	8.8	11	1,627,250
(平均値)					—	(544.7)	—	(2,372)		(75.0)	(8.8)	(9.0)	(1,293,687)

子牛市場情報

和牛素牛全国主要市場成績令和4年7月度 — 雌・去勢計の高値上位10市場(7月29日時点) —

都道府県	市場	性	上場頭数	平均価格 円/頭(税込)	体重 kg	単価 円/kg	前回平均 円/頭(税込)	前回比 %
黒毛和種	全国計	雌	12,956	585,401	286	2,048	602,926	97
		去	16,644	688,645	309	2,228	699,681	98
		計	29,600	643,455	299	2,153	658,955	98
1 岐阜	飛 騨	雌	163	674,044	245	2,753	729,542	92
		去	222	793,412	264	3,004	864,310	92
		計	385	742,874	256	2,902	808,053	92
2 北海道	十 勝	雌	953	663,683	317	2,096	661,233	100
		去	1,243	779,470	333	2,342	763,157	102
		計	2,196	728,813	326	2,238	724,723	101
3 鳥取	中 央	雌	123	749,395	277	2,697	794,742	94
		去	142	697,175	299	2,325	632,646	110
		計	265	721,413	289	2,491	714,948	101
4 北海道	北 見	雌	135	642,125	313	2,055	608,965	105
		去	200	771,515	344	2,246	729,071	106
		計	335	719,444	331	2,173	678,933	106
5 北海道	南 北海道	雌	639	647,994	313	2,072	619,842	105
		去	952	763,816	333	2,297	760,473	100
		計	1,591	717,116	325	2,209	703,545	102
6 兵庫</								

豚肉

6月の全国の肉豚出荷頭数は、1,339千頭(前年比99.4%)と前年並み。地域別出荷頭数を前年比で見ると、北海道105.2%、東北102.4%、関東98.3%、北陸甲信越99.1%、東海121.1%、近畿117.1%、中四国105.1%、九州・沖縄98.0%だった。

全国と畜頭数の7月の速報値は、1,227千頭(前年比93.4%)と前年を下回る見込み。稼働日数は昨年と同様だが、1日あたりの平均と畜頭数は61,325頭(前年差-4,329頭/日)と下回ったためである。

6月の輸入通関実績は、豚肉全体で89.4千t(前年比118.7%、前月比115.4%)と前年を上回り、チルドが35.3千t(同99.0%、同131.6%)、フローズンは54.1千t(同136.3%、同106.8%)となった。国別で見ると、チルドではカナダとメキシコ

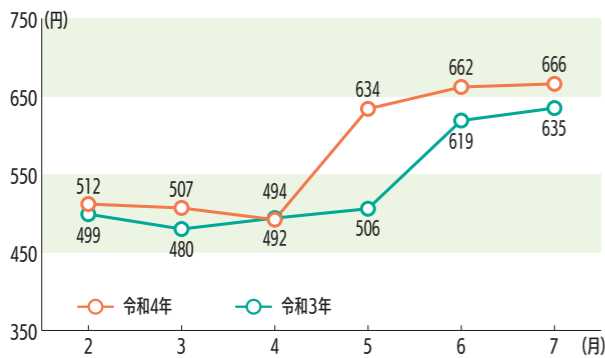
が増加し、フローズンでは中国の輸入減少等からスペインやデンマークなどからの輸入量が増加した。

総務省発表の6月期家計調査報告によると、全国2人以上の1世帯あたり豚肉購入数量は1,745g(前年比96.4%)、支出金額が2,511円(同100.2%)となり、購入量は前年を下回ったが、金額はやや上回った(※2019年度同月比:購入量98.7%、金額104.3%)。

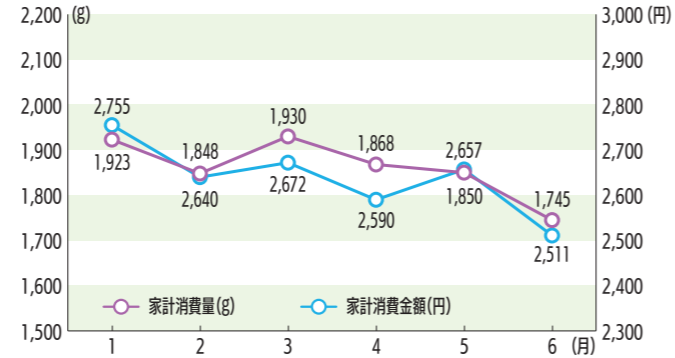
7月の東京市場枝肉卸売価格(速報値)は、666円/kg(前年比105.0%)と前年を上回った。と畜頭数の低位推移や輸入豚肉からの代替需要を背景に高値推移していたものの、3連休明けから需要の減退により一転して低位で推移した。8月の相場は、輸入豚肉の現地価格高騰等を背景に需給が引き締まる可能性が高いが、酷暑やコロナ感染者の急増などから需要が伸び悩む可能性もあるため、もち合いから弱含みの展開を見込んでいる。

【令和4年9月の相場予想】※東京市場 上物・税込600円

豚枝肉「上」の卸売価格(東京食肉市場)



豚枝肉の家計消費量と消費金額(全国1世帯あたり)



牛肉

6月の成牛と畜頭数は、87.1千頭(前年比103.8%)と前年を上回った。内訳を見ると、和牛39.5千頭(前年比102.5%)、交雑牛19.7千頭(同107.6%)は前年を上回ったが、乳牛去勢12.1千頭(同92.1%)は下回った。

輸入通関実績は、全体で57.7千t(前年比110.4%、前月比126.1%)と前年を上回り、内訳ではチルド22.8千t(前年比95.8%、前月比111.3%)、フローズン34.9千t(前年比122.7%、前月比138.0%)となった。米国と豪州の現地価格の高騰は継続しているものの、フローズンとの合算では米国は前年を超えている。

総務省発表の6月度家計調査報告によると、全国2人以上の1世帯あたり牛肉購入量は465g(前年比84.4%)、支出金額が1,643

円(同93.1%)となり、購入量・支出金額ともに前年同月を下回った。(※2019年度同月比:購入量 88.6%、金額101.1%)

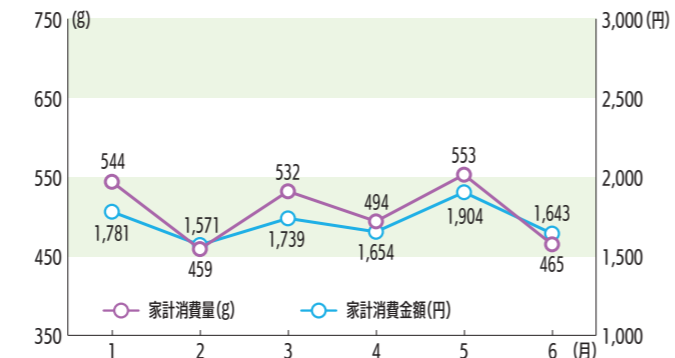
7月の東京市場枝肉卸売価格(速報値)は、和牛去勢A5が2,596円(前年比97.8%)、A4が2,376円(同101.0%)、交雑牛B3が1,542円(同97.8%)、乳牛去勢B2が1,073円(同104.6%)だった。早期の梅雨明けから需要の高まりが見込まれたが、コロナ感染者の増加(第7波)により外食需要が軟調となったことで、和牛・交雑牛ともに軟調に推移した。なお、乳牛去勢は、輸入牛肉の高騰による代替需要が続いており、前月に続き前年を上回った。

8月の枝肉相場は、需要期であるお盆期間を迎えるものの、酷暑による消費減退に加え、コロナ感染症の第7波の影響から需要が盛り上がりせず、底堅い乳牛去勢以外は軟調に推移する見込み。

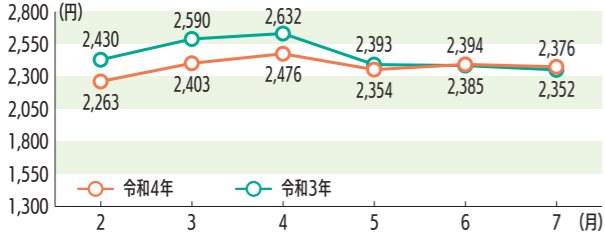
【令和4年9月の相場予想】※東京市場 税込

◎和牛去勢A4:2,300円 ◎交雑去勢B3:1,500円 ◎乳牛去勢B2:1,050円

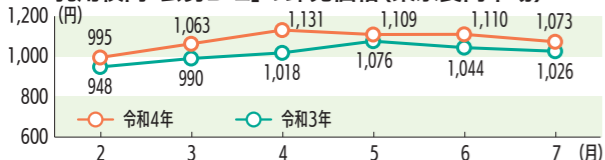
牛肉の家計消費量と消費金額(全国1世帯あたり)



和牛枝肉「去勢A-4」の卸売価格(東京食肉市場)



乳用枝肉「去勢B-2」の卸売価格(東京食肉市場)



鶏卵

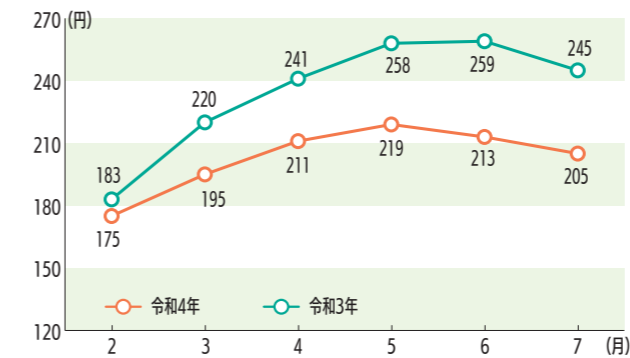
6月の全国の餌付け羽数は8,039千羽(前年比83.8%)。東西別の前年比では、東日本は88.2%となり、特に北海道エリアで75.0%と大幅に減少した。一方で西日本も78.6%と下回り、特に東海エリアで55.2%と大幅に減少した。各エリアで生産意欲の低下がうかがえることから、今後の生産量の変動に注視が必要。

6月の鶏卵1人あたりの家計消費量は862g(前年比97.7%・前々年比92.1%)となった。コロナ禍における巣ごもり需要からの回復や、梅雨時期の購買意欲低下により、需要が落ちついたと思われる。8月以降も本格的な気温の上昇、また原材料の高騰により消費者の節約志向が根強く続くと考えられ、需要の減退が見込まれる。

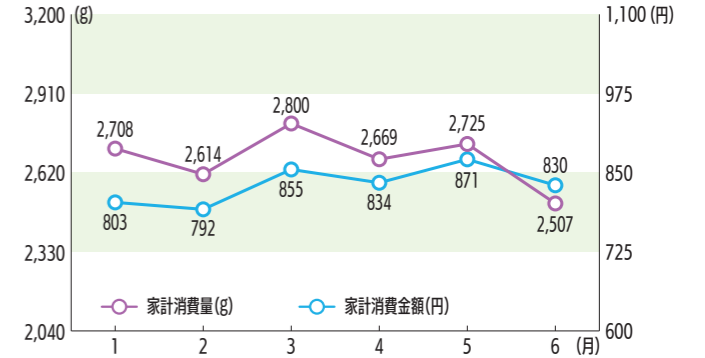
7月の東京相場の月間平均は、Mサイズ205円(前年比-40円、前月比-8円)。供給面は夏場の気温上昇にともない大玉の発生減少、中玉・小玉中心の生産で推移した。また梅雨明け以降も季節性の需要減少にともない中玉以下で余剰が見られた。需要面は暑さによる不需要期に突入し、量販筋・外食筋ともに荷動きの鈍化が見られた。加工筋については定期中心の集荷となり、夏場のボイル卵の引き合いは落ちついた荷動きとなった。

今後、供給面では連日の猛暑の影響から更なる個卵重の低下が見込まれるほか、熱性ストレスによるへい死等が及ぼす生産への影響について引き続き注視していく必要がある。相場展開についても、サイズ間調整が中心となることが予想され、お盆明け以降は9月を控えた需要回復に期待したい。

鶏卵取引価格・全農たまごMサイズ基準値(東京)



鶏卵の家計消費量と消費金額(全国1世帯あたり)



鶏肉

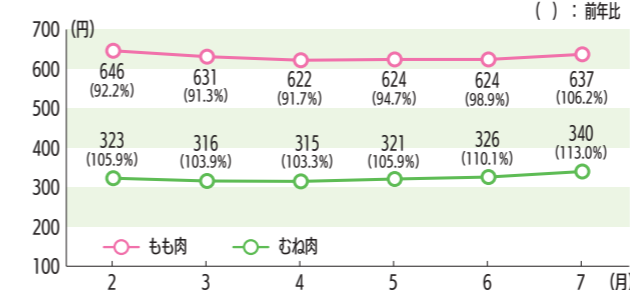
生産・処理動向調査によると、6月の推計実績は処理羽数60,936千羽(前年比101.3%)・処理重量183.9千t(同100.8%)となった。前月時点の計画値より処理羽数は0.8%、処理重量は0.7%上方修正となっている。気温上昇の影響で増体の純りや大腸菌症の発生が見られたものの、前月予測の結果から、育成はおおむね安定しているように見られる。

財務省が7月28日に公表した貿易統計によると6月の鶏肉(原料肉)の輸入量は前月から9.7千t増の52.2千tで、国別ではブラジルが6.5千t、タイが2.9千t増となっている。前年同月の実績に対しては9.3千t増となった。これは、新型コロナウイルスの影響によるタイの人手不足が回復傾向にあり、輸入量が戻りつつあることが挙げられる。

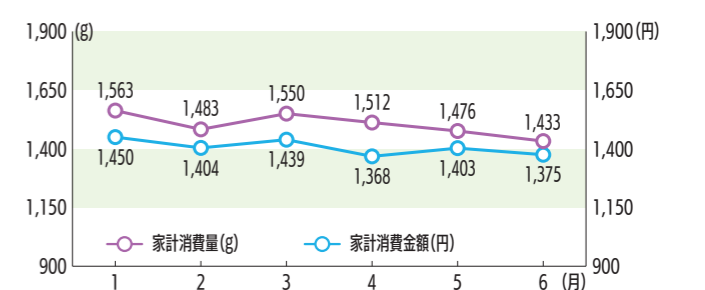
6月の推計期末在庫は国産30.5千t(前年比89.4%・前月差-0.7千t)、輸入品119.1千t(同97.8%・同+3.4千t)で合計149.6千t(同96.0%・同+2.7千t)となった。

7月の月平均相場は、もも肉637円/kg(前月差+13円)・むね肉340円/kg(同+14円)、正肉合計で977円/2kgと前月を27円上回り、前年差では76円上回った。もも肉相場は月初627円、月末は643円となった。(昨年は月初617円、月末582円で35円の下げ)。昨年の相場より単価が上回り、上げ基調になっている。要因は、依然として安価な鶏肉に消費者の需要があることや、一部給食向け等の需要が考えられる。8月は、生鮮品の販売については一部落ち込みも予想されるが、凍結品での需要が高いことから、もも肉相場はもち合いの月平均640円前後の見通し。むね肉相場はやや上げの月平均350円と予測する。

ブロイラー(正肉)市況の推移



【令和4年9月の相場予想】 ◎もも肉:640円 ◎むね肉:360円
ブロイラーの家計消費量と消費金額(全国1世帯あたり)



モバイル牛温恵

(分娩監視・発情発見システム)

モバイル牛温恵



牛温恵は、親牛を体温センサーで監視して「分娩の約24時間前」「1次破水時」「発情の兆候」を検知し、携帯のメールでお知らせする畜産農家の方のためのシステムです。人海戦術による24時間体制での監視の必要がなくなり、計画的な分娩や発情時期を迎えることができます。

製品構成 親子機一体型、体温センサー、ストッパー3本爪・6本爪、センサー挿入棒

詳細はこちら：<http://www.gyuonkei.jp/>

【お問合せ先】
全農畜産サービス株式会社
TEL: 03-5245-4871
URL: <https://www.zcss.co.jp/>



今回のテーマ

- ▶ 事業継承の際、JAのサポートで期待することはありますか？理由についても教えてください。
- ▶ TwitterやYouTube等のSNSでお気に入りの畜産系チャンネルはありますか？もしくは、よく見るホームページなどはありますか？

表紙写真

JAうすきたまごファームと関係者の皆さん、第24回全農肉牛枝肉共助会の受賞者の皆さん、JAながさき県央養豚部会と関係者の皆さん、たかはし畜産と関係者の皆さん

編集委員

鈴木和明 / 中尾山隆司 / 剣持和幸 / 澤明 / 森本哲生 / 嶋亮一 / 相良倫成 / 内堀寛之 / 江崎尚二 / 泉瑞枝 / 出雲智子 / 児玉博士 / 加藤美和 / 笹渡翔 / 岩橋かをり / 小宮山大介 / 高橋光

発行元

JA全農畜産生産部推進・商品開発課
東京都千代田区大手町1-3-1
TEL03-6271-8236 FAX03-5218-2526

ちくさんクラブ21 Webサイト 閲覧ランキング!

畜産の“今”をお伝えするちくさんクラブ21のWebサイト。最新の畜産情報から、営農に役立つ技術情報まで満載です!!是非、ご覧ください。

どの企画がお気に入り?

1位 地域一丸となって、地鶏のブランディングに奮闘! **共創するチカラ** (徳島県/阿波尾鶏)

2位 効果的なハエ対策を特集! **139号 教えて!中研(養牛/養豚)**

4位 夏場の暑熱対策で、牛のストレス軽減 **140号 教えて!中研(養牛)**

5位 飼料価格に対するJA全農の取り組み **NEWS**

今すぐチェック!
ちくさんクラブ21 (chikusan-club21.jp)

※令和4年7月1日~7月31日までの閲覧数を計測。

プレゼント

締め切り
2022年
9月22日到着分
まで



本誌に対するご意見や、読者アンケートにお答えいただいた方の中から、抽選でJAタウンに出品されている各地の名産品等をプレゼントします。申し込みはとじ込みハガキ・FAX用紙・QRコードをご利用ください。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

JA全農たまご TAMAGO COCCOより
「焼き菓子詰め合わせギフト」
(15袋入り)



編集後記

「一生懸命」の取材でうかがったJAうすきたまごファームさんの農場は非常に整頓されており、動線の確保から作業を行うスペースまで細やかな意識が伝わってきました。規模が大きくなるほど、そうした意識が疎かになってしまふものなのですが、そういったことはまったくなく、取材中も感心しきりでした。消費応援と栄養のため、今後も意識して卵料理を食べようと思います! (K)



令和4年8月発行(隔月発行)※本誌の無断転載を禁じます

読者の広場

全国的に猛暑日が続いていますが、暦の上では秋を迎えました。秋といえば、実りの季節。炊き立ての新米が今から待ち遠しいですね。今回は、皆さんが夏バテの時に食べる“元気飯”と、「こんな技術があったらいいな!」という畜産における夢のIT技術についてうかがいました。

読者から一言

- 関西で活躍されている繁殖と牛農家を取り上げてほしいです!! (兵庫県・和牛繁殖 匿名希望さん)
- 価格高騰している飼料について、少しでもコスト負担の軽減になるよう工夫して補食しているような飼料作りがあれば情報がほしい。 (群馬県・乳牛 ミルクじいさん) ※お寄せいただいたご意見・ご要望につきましては、誌面制作の参考とさせていただきます。「読者の広場」には締め切り日までにいただいた分を掲載しています。

- Q 夏バテの時に食べる“元気飯”について教えてください。**
- 自分で作っている「ひとめぼれ」のご飯を毎食食べる。 (福島県・和牛繁殖 匿名希望さん)
 - しょうが焼き (岩手県・肉牛繁殖 アイーンさん)
 - 冷やし汁!! 山形のだし!! (宮城県・和牛繁殖 匿名希望さん)
- Q あなたが考える夢のIT技術(畜産関連)を教えてください。**
- 直腸検査は誤診も多々あり、だからといってエコーは高く、技術も難しいため、個人で使用するのは難しい。子宮の状態がひと目で分かるものができてほしい。(Farm noteみたいな感じで) (宮城県・牛(繁殖) 牛大好きマンさん)
 - 1頭1頭体つき、食べる量、好き嫌いがあるのできちんと把握して育成できる技術があると嬉しい。 (大分県・和牛繁殖農家 よーちゃんさん)
 - ET(受精卵移植)技術の確立。 (島根県・和牛 匿名希望さん)

見てみて! うちの農場 ~高等学校編~

宮城県農業高等学校

宮城県農業高等学校畜産専攻では、酪農、養豚、養鶏(採卵鶏)について学習しています。昨年度開催された第5回和牛甲子園では、取組評価部門で「高校牛児特別賞」を受賞。枝肉評価部門では宮城県種雄牛の「茂福久」を飼育し、仙台牛となるA5を初出場ながらいただくことができました。私たちも先輩の飼育した結果を上回れるように毎日牛舎に通い、朝と夕方にブラッシングや給餌、除糞も欠かさず行っています。手塩にかけ育てた先輩方の想いを受け継ぎ、大切に育て、牛から多くを学んでいきたいです。



和牛班のメンバーと出品牛



体重測定の様子

農場で働くご家族、従業員の方々などを写真とともに紹介します。写真は農場内ならOK。写真には簡単な説明を書き添えていただき、お気軽に編集部までご送付ください。なお、写真の返却は致しかねます。あらかじめご了承ください。宛先は〒100-6832 東京都千代田区大手町1-3-1 JA全農畜産生産部推進・商品開発課 / ちくさんクラブ21編集部もしくは、eメール「zz_zk_chikusan_club@zennoh.or.jp」まで。